

ネットワークカメラ CG-NCPT/CG-WLNCPTG 詳細設定ガイド

付属の「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく設置・操作を行ってください。

Y613-05876-02 Rev.D

付属マニュアルのご紹介

本商品には、次のマニュアルが付属されています。各マニュアルをよくお読みになり、本商品を正しくお使いください。

●取扱説明書

安全にお使いいただくためのご注意や、付属品の内容、各部の名称と機能、サポートに関する情報、本商品の接続方法、基本設定などを説明しています。
本商品をお使いになる前や本商品の導入時に必ずお読みになり、正しくお使いください。

●詳細設定ガイド（本書）

「NCView A」の詳細な機能説明や、Web ブラウザでの設定方法、トラブルシューティングなどを説明しています。

●お使いの手引き（PDF ファイル：ユーティリティディスクに収録）

所有者以外の一般ユーザが使用するソフトウェア「NCView S」のインストール方法、使い方を説明しています。必要に応じて弊社のホームページからダウンロードし、各ユーザに配布してください。

ネットワークカメラの操作のしかた

ネットワークカメラを操作するには次の２つの方法があります。

● 「NCView A」で操作する

「NCView A」は、カメラの画像を見たり、録画するためのソフトウェアです。
最初にカメラを登録する必要がありますが、次からは、接続したいカメラを選択して［接続］ボタンをクリックするだけで、カメラにアクセスできます。LAN 内のカメラであれば、IP アドレスが分からなくても自動検索して接続できます。
「NCView A」からカメラに内蔵されている設定画面にアクセスして、設定を行うこともできます。

「NCView A」のおもな機能は次のとおりです。

・ 画像を見る（最大４台までのカメラの画像を閲覧可能）
・ 画像を静止画で保存する
・ 画像を動画で録画する
・ 被写体の動きを感知したときに、アラームを鳴らしたり、メールを送信する
・ ファームウェアを更新する

「NCView A」の使い方については、本書の「PART1 NCView A でカメラを操作する」をご覧ください。

● Web ブラウザで操作する

「NCView A」がインストールされていないパソコンからカメラにアクセスする場合は、web ブラウザを使用します。
Web ブラウザで IP アドレスやドメイン名を入力してカメラにアクセスし、画像を見たり、設定を行うことができます。

ただし、次のことは Web ブラウザからは操作、設定できません。

・複数のカメラの画像を見る
・画像を静止画で保存する
・画像を動画で録画する
・被写体の動きを感知したときに、アラームを鳴らしたり、メールを送信する
・ファームウェアを更新する

Web ブラウザで画像を見る方法や設定方法については、本書の「PART2 Web ブラウザでカメラの画像を見る」「PART3 Web ブラウザでカメラの設定をする」をご覧ください。

はじめに

このたびは、「CG-NCPT」「CG-WLNCPTG」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本商品を正しくご利用していただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。

コレガ製品に関する最新情報（ファームウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせします。

http://corega.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

●記号について

注意	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。
参照	付属マニュアルでの参照箇所を示しています。

●表記について

本商品	CG-NCPT または CG-WLNCPTG のいずれかを指します。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[ ]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
LAN ケーブル	本書では、UTP ケーブル（アンシールド·ツイストペア·ケーブル）のことを指します。本商品の接続には付属のUTPケーブルを使用してください。

●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

PART 1 NCView A でカメラを操作する

「NCView A」について

「NCView A」は、本商品の所有者専用のユーティリティです。本商品の画像を見られるだけでなく、録画時の設定など、本商品の設定もできます。
「NCView A」を起動すると、次のようなメインウィンドウが表示されます。



接続中のカメラがある場合は、そのカメラの画像ウィンドウも同時に表示されます。

●メインウィンドウ

カメラの画像を録画するときに使用します（P.18）。

複数のカメラの画像を見るときに使用します（P.15、16）。

カメラの各種設定を行います（P.23）。

ヘルプ / バージョン情報が表示されます。

録画ファイルを再生します（P.22）。

登録されているカメラの変更 / 削除を行います（P.10、11）。

カメラアイコン
カメラの登録、切り替えを行います。

選択したカメラに接続/切断します（P.12）。

「NCView A」のメインウィンドウを最小化し、タスクバーに表示します。

「NCView A」のメインウィンドウを閉じます。

選択したカメラの情報（IPアドレス、デバイス名）や状態（On-Line/Off-Line）が表示されます。

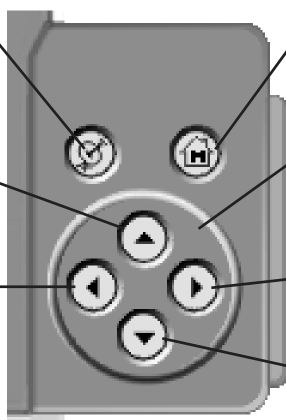
クリックするとメインウィンドウの右端に「モーション設定」（P.27）、「詳細設定」（P.29）、「ファーム更新」（P.30）の3つのボタンが表示されます。

選択したカメラのMACアドレス、ファームウェアバージョンなどの詳細情報が表示されます。

[スキャン］ボタン
クリックすると、カメラの回転可能角度内を 1 周して映すことができます。

クリックするとカメラが上方向に向きます。

クリックするとカメラが左に回転します。



[Home］ボタン
クリックするとカメラの向きを初期位置に戻します。

カメラ移動ボタン
カメラのレンズの方向を上下左右に調節することができます。

クリックするとカメラが右に回転します。

クリックするとカメラが下方向に向きます。

※詳細は「カメラの向きを調節する」（P.13）をご覧ください。

カメラを登録する

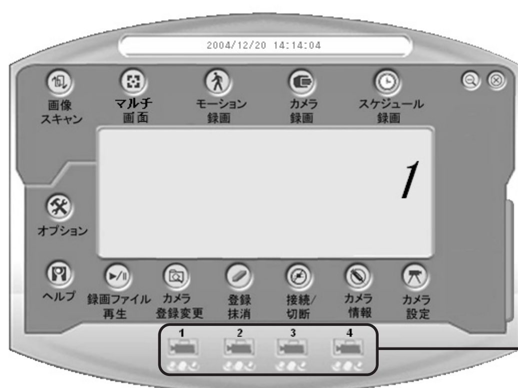
「NCView A」でカメラの画像を見るには、カメラの登録が必要です。「NCView A」には、最大４台のカメラを登録できます。



「NCView A」でカメラの登録を行う前に、「NCSetup」でカメラの設定を行っておいてください。設定方法について詳しくは、「取扱説明書」をご覧ください。

カメラの登録は次の手順で行います。

1 カメラアイコンをクリックします。



カメラアイコンをクリックします。
左から１～４の順になっています。

ネットワークに接続されているカメラが検索され、しばらくすると、一覧に表示されます。



カメラが登録されていない場合に手順２の画面が表示されます。

2 登録したいカメラを選択し、[登録] をクリックします。



❶登録したいカメラをクリックします。

❷[登録] をクリックします。



登録したいカメラがどれにあたるかは、デバイス名やMACアドレスをもとに探してください。

本商品のデバイス名は、工場出荷時には、次のように設定されています。

NC ○○○○○○

○の部分には、MAC アドレスの下６桁が入ります。

本商品の MAC アドレスは、背面の MAC アドレスラベルに記載されています。

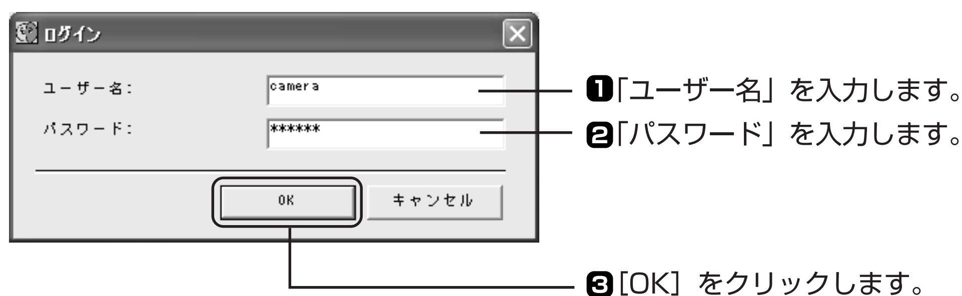


・登録したいカメラが表示されないときは、[再検索]をクリックして、検索しなおしてください。それでも表示されないときは、[IPアドレス入力]をクリックしてカメラのIPアドレスまたはドメイン名(ダイナミックDNSをご利用の場合のみ)を直接入力し、手順3に進んでください。

・インターネット上のカメラの場合は、自動で検索されません。[IPアドレス入力]をクリックして、カメラのIPアドレスまたはドメイン名(ダイナミックDNSをご利用の場合のみ)を入力してください。

・カメラが自動検索されてもカメラのIPアドレスと使用中のパソコンのIPアドレスが同一ネットワーク上にない場合はカメラの登録ができません。パソコンとカメラのIPアドレスを再確認し、変更してください。

3 「ログイン」画面が表示されたら、「NCSetup」で設定したユーザ名とパスワードを入力して、[OK]をクリックします。



しばらくすると、登録したカメラの画像ウィンドウが表示されます。
また、メインウィンドウに登録したカメラのデバイス名やIPアドレス、接続状態が表示されます。

これで、カメラの登録は完了です。

カメラを複数台使用する場合は、同じ手順ですべての登録を行ってください。

■カメラの IP アドレスを変更する

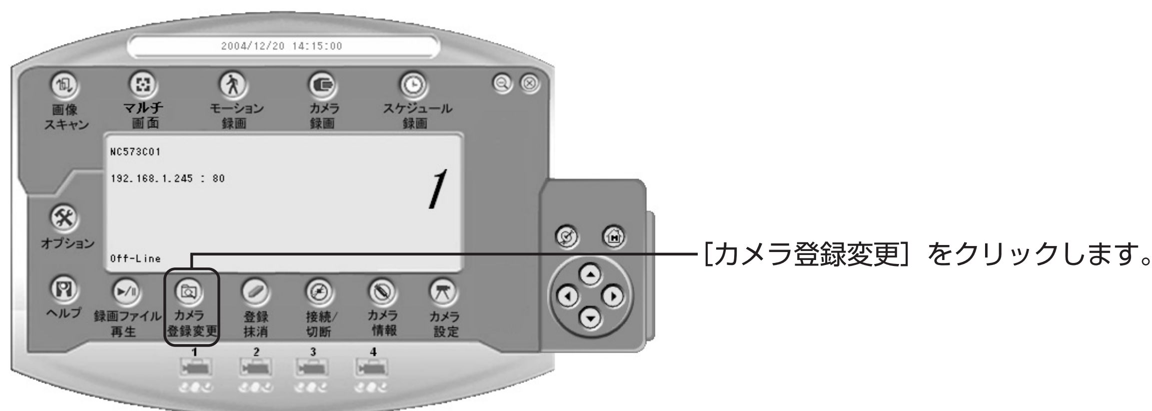
「NCView A」でカメラのIPアドレスを変更できます。本商品とパソコンのIPアドレスが同一ネットワーク上にない場合などは、IP アドレスを変更する必要があります。



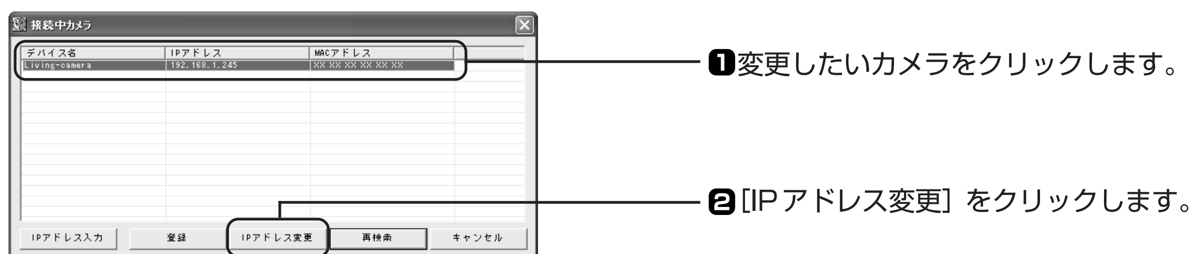
IP アドレスを変更できるのは、自動検索されたカメラのみです。

1 IP アドレスを変更したいカメラアイコンをクリックします。

2 ［カメラ登録変更］ をクリックします。

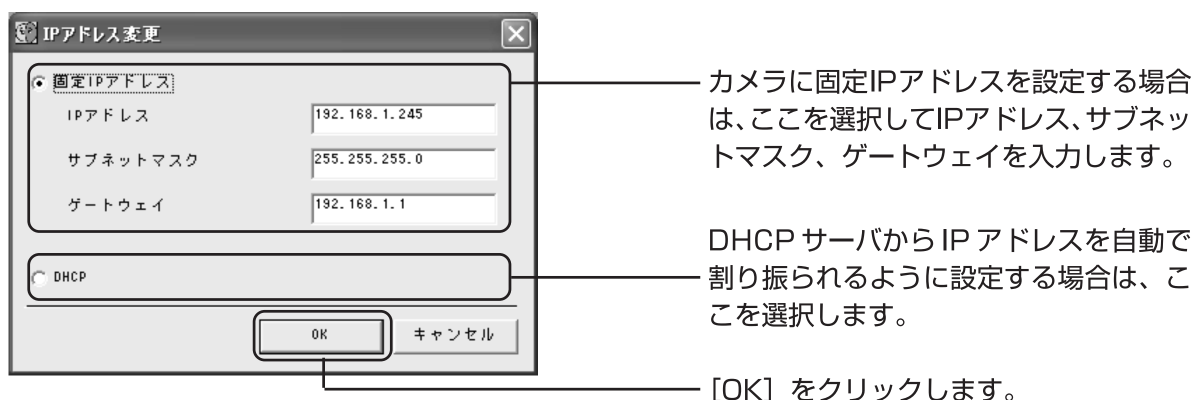


3 「接続中カメラ」画面が表示されたら変更したいカメラを選択して、［IPアドレス変更］ をクリックします。



4 「ログイン」 画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力して、［OK］ をクリックします。

5 「IP アドレス変更」 画面で必要事項を入力し、［OK］ をクリックします。



6 「接続中カメラ」画面で、[登録] をクリックします。

7 「ログイン」画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

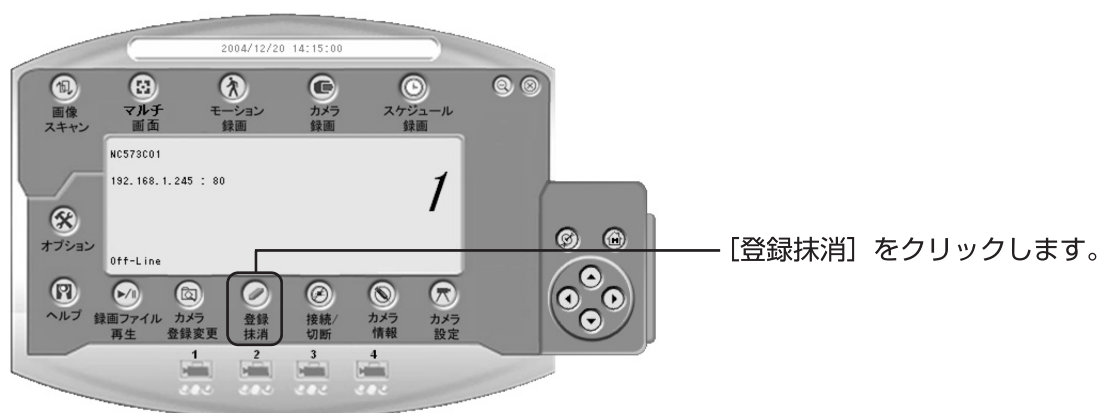
しばらくすると、カメラの画像ウィンドウが表示されます。
また、メインウィンドウの IP アドレスの表示が変わります。

■カメラの登録を削除する

使用しないカメラの登録を削除することができます。

1 登録を削除したいカメラアイコンをクリックします。

2 [登録抹消] をクリックします。



メインウィンドウに表示されていたカメラ情報が消えます。
また、カメラの画像ウィンドウが表示されていた場合は、画像ウィンドウも消えます。

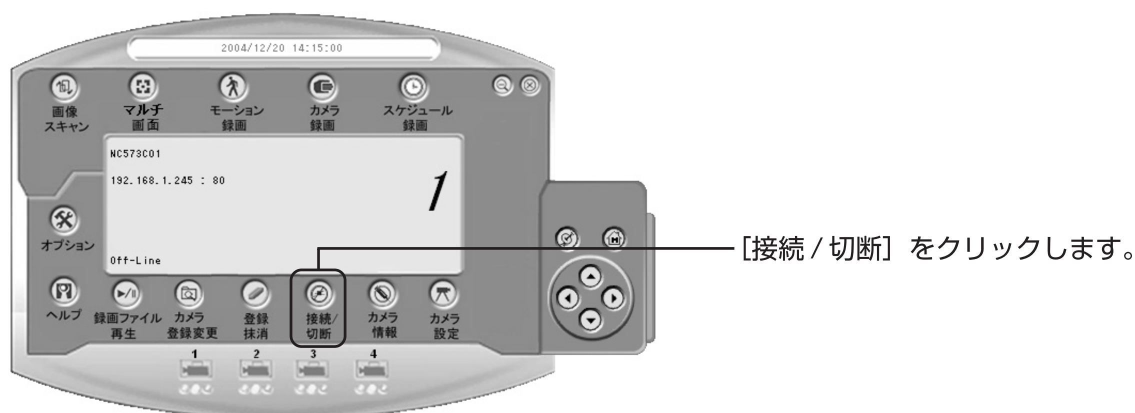
カメラの画像を見る

カメラに接続して、画像を見る方法を説明します。

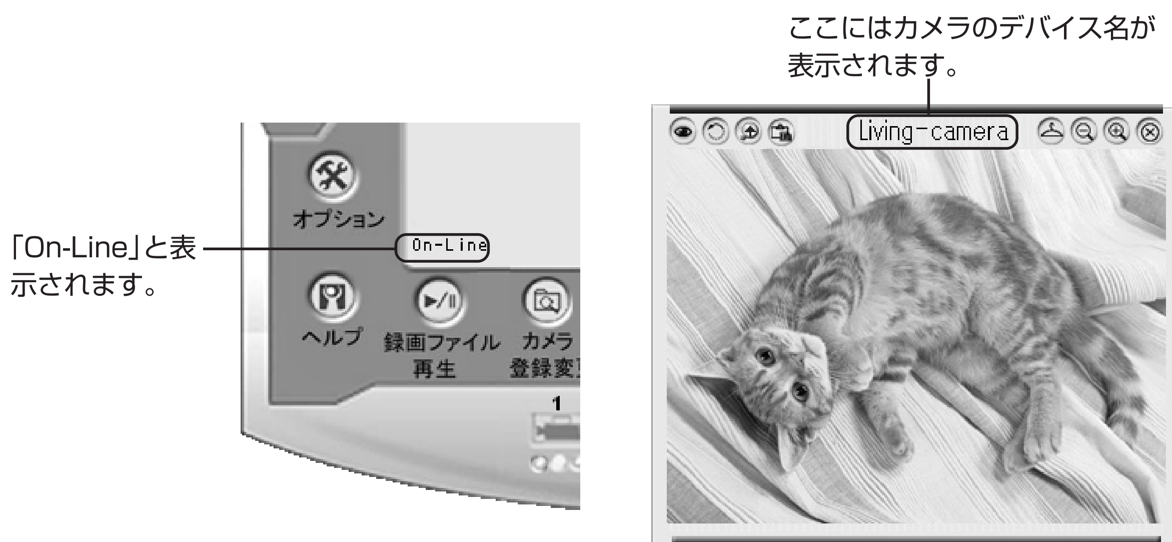
■カメラに接続 / 切断する

1 接続または切断したいカメラアイコンをクリックします。

2 ［接続 / 切断］をクリックします。



カメラに接続すると、［接続 / 切断］がピンク色に変わり、メインウィンドウに「On-Line」と表示されます。同時に、画像ウィンドウに画像が表示されます。



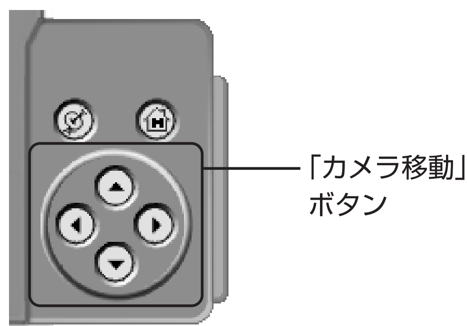
※画面はイメージです。

切断すると、［接続 / 切断］が水色になり、メインウィンドウの表示が「Off-Line」に変わります。

■カメラの向きを調節する

●カメラの向きを調節する

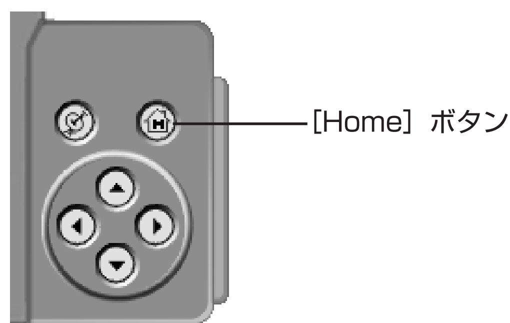
「カメラ移動ボタン」▲ボタン(上下左右)をクリックするごとに、カメラの角度が 1 段階ずつ押した方向に動きます。
長押しすると、押した分だけカメラが動きます。



メモ
・▲ボタン 1 回分の角度は変更することができます。詳しくは「画像/動画を見る」(P.33)をご覧ください。
・カメラの可動範囲は、上下（− 45 〜 90 度）、左右（± 170 度）です。

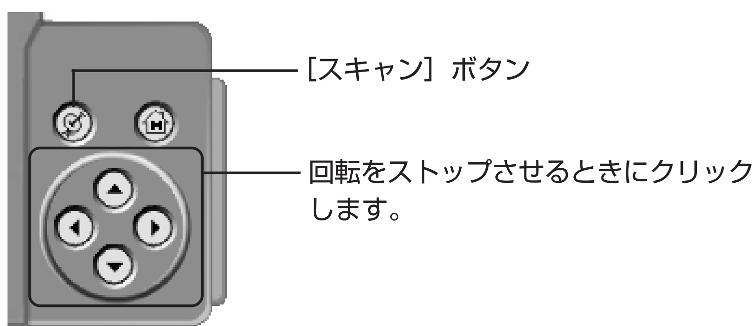
●カメラを元の位置に戻す

［Home］ボタンをクリックすると、カメラが初期角度（本体に対して正面）に戻ります。



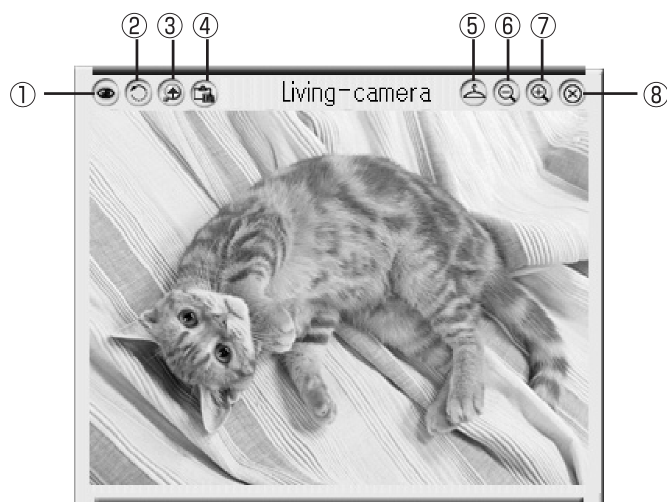
●カメラの回転可能範囲内を 1 周させる（スキャン機能）

［スキャン］ボタンをクリックすると、カメラの回転可能な角度内を左右に 1 周させて撮影することができます。1 周すると、元の位置で回転を停止します。
回転中にカメラ移動ボタンのいずれかをクリックすると、スキャンが停止します。



■画像ウィンドウの操作について

画像ウィンドウの各ボタンをクリックすると、次のようなことができます。
クリックしたボタンは、ピンク色に変わります。



①表示されている画像を静止画（JPEG 形式）で保存できます（P.17）。

②表示されている画像を回転します。クリックするたびに左回りに 90 度ずつ回転していきます。

③表示されている画像をズーム（拡大）して表示させることができます。（P.14）

④メインウィンドウを表示します。

⑤画像ウィンドウを常に一番手前に表示します。もう一度クリックすると、解除されます。

⑥画像ウィンドウを最小化してタスクバーに表示します。

⑦画像ウィンドウを最大化して画面いっぱいに表示します。もう一度クリックすると、最大化する前に表示していた大きさに戻ります。

⑧画像ウィンドウを閉じます。再度、画像ウィンドウを表示するには、メインウィンドウで画像を表示したいカメラのアイコンをクリックしてください。

■表示を拡大する〈ズーム〉

表示される画像をズーム（拡大）させることができます。
・ズーム倍率は× 1、× 1.5、× 2、× 2.5、× 3、× 3.5、× 4 の、7 段階から選択できます。
・「ウィンドウサイズ」は、ウィンドウの右下をドラッグしてウィンドウサイズを変更すると、ウィンドウサイズに合わせて画像を表示します。



画像はウィンドウサイズに伴い変更されるため、縦横の比率も変更されます。

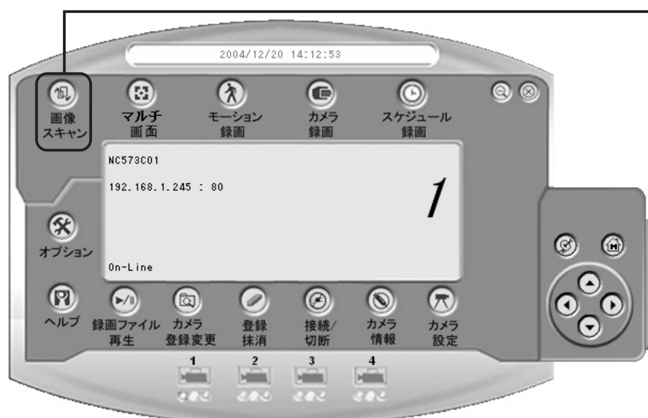
■複数のカメラの画像を切り替えて表示する〈画像スキャン〉

ネットワーク上に複数台のカメラを接続しているときに、1 つの画像ウィンドウで、一定の間隔でカメラを切り替えて画像を表示することができます。
カメラを切り替える間隔は、「オプション」画面の「画像スキャン間隔」で、設定できます（P.26）。



あらかじめ、各カメラを「NCView A」に登録、接続しておいてください。

1 **メインウィンドウで [画像スキャン] をクリックします。**



設定した間隔でカメラが自動的に切り替わり、画像が表示されます。
表示中のカメラの名前は、画像ウィンドウのタイトルバーで確認できます。

メモ

「マルチ画面」（P.16）をしているときに［画像スキャン］をクリックすると、「マルチ画面」が解除されます。

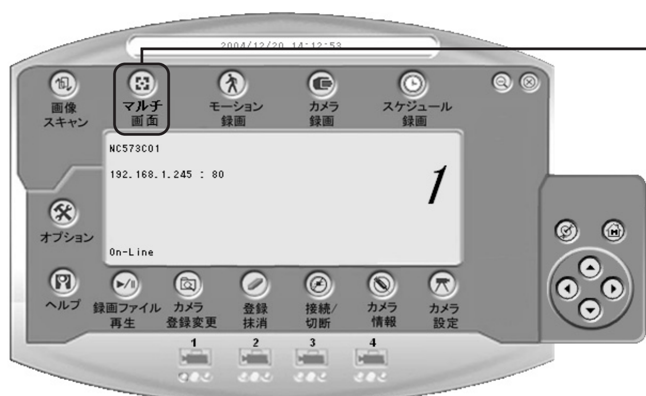
■複数のカメラの画像を 1 つのウィンドウで表示する〈マルチ画面〉

複数台のカメラに接続している場合に、各カメラの画像ウィンドウを 1 つのウィンドウで表示することができます。



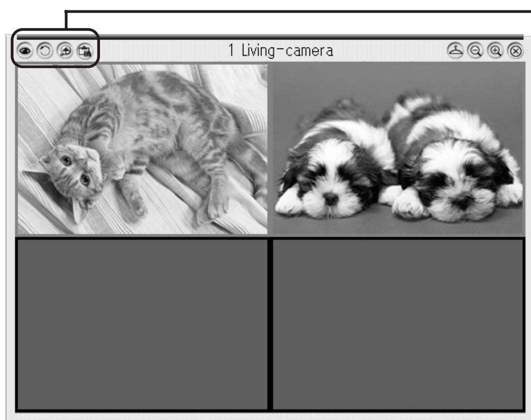
あらかじめ、各カメラを「NCView A」に登録、接続しておいてください。

1 メインウィンドウで［マルチ画面］をクリックします。



［マルチ画面］をクリックします。

最大 4 台分の画像ウィンドウが、1 つのウィンドウに表示されます。



選択したカメラに対して、各ボタンの機能が実行されます。

※画面はイメージです。

画像をクリックすると、カメラを選択できます。
選択されているカメラの画像には、赤い枠が表示されます。

メモ

- 各ボタンの機能は 1 台のみの画像ウィンドウと同じです（P.14）。
- 画像ウィンドウでカメラを選択すると、メインウィンドウの表示が選択したカメラの情報に変わります。
- 接続または登録されていないカメラは、画像が表示されません。
- 画像スキャン（P.15）を行っているときに［マルチ画面］をクリックすると、画像スキャンが解除されます。
- マルチ画面表示中は、ズーム機能は使用できません。

画像が 1 つに表示された状態から、カメラごとの画像ウィンドウに戻したいときは、画像ウィンドウの ⊗ をクリックするか、メインウィンドウで、もう一度［マルチ画面］をクリックします。

■画像を静止画で保存する

表示されている画像を静止画（JPEG 形式）で保存できます。

1 画像ウィンドウで をクリックします。

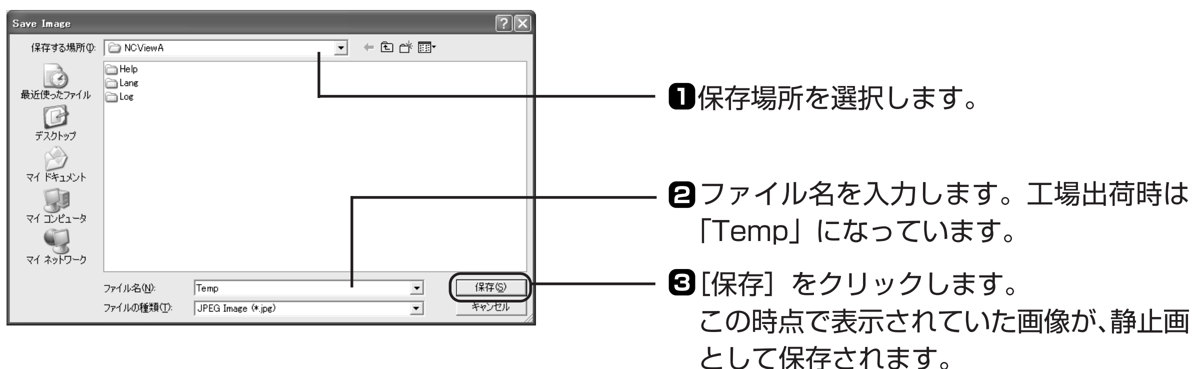


※画面はイメージです。


注意

をクリックした時点の画像ではなく、手順２で［保存］をクリックした時点で表示されていた画像が保存されます。

2 画像の保存場所とファイル名を設定し、[保存]をクリックします。



画像を録画する

本商品で撮影した画像を録画できます。録画方法には、「モーション録画」「カメラ録画」「スケジュール録画」の３種類があります。
録画ファイルは avi 形式で保存され、Windows Media Player などで再生できます。

・モーション録画
カメラが被写体の動きを感知しているときだけ、録画を行います。

・カメラ録画
手動で録画を行います。メインウィンドウの［カメラ録画］をクリックすると録画が始まり、もう一度クリックすると、録画が終了します。

・スケジュール録画
指定した日時または曜日のみ、録画を行います。

●録画を行うときの注意

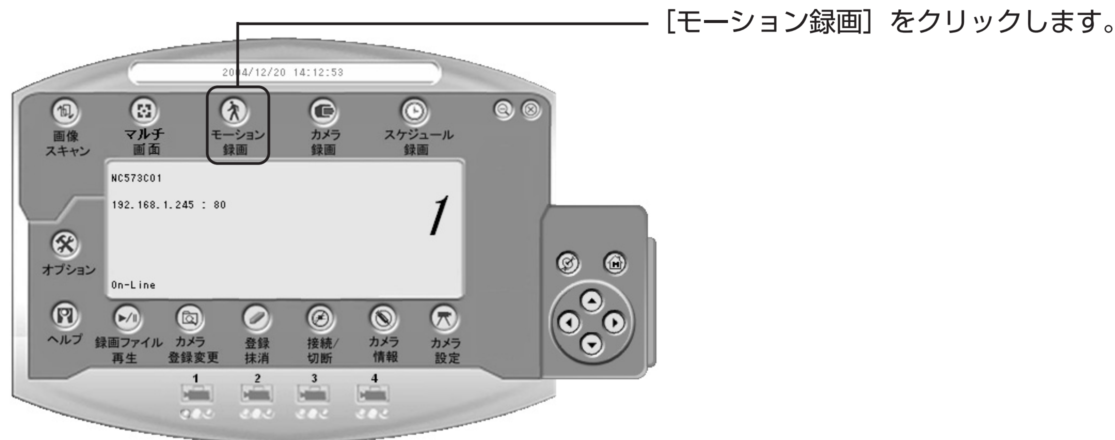
・録画ファイルの保存容量が［オプション］－［リサイクル］で設定した容量より大きくなると、古いファイルから自動的に削除されます（P.25）。
・「NCView A」のメインウィンドウまたは、録画したいカメラの画像ウィンドウのどちらかが開いていれば録画できます。
・録画ファイルは、［オプション］－［ファイル保存］で設定したフォルダ内に、カメラごとに保存されます（P.24）。
・録画ファイルは、［オプション］－［録画ファイル分割］で指定した容量で分割されて保存されます。
・録画ファイルのファイル名には、録画開始時刻がつけられます。
例：20041210151500.avi → 2004 年 12 月 10 日 15 時 15 分 00 秒に録画開始

■被写体の動きを感知したときだけ録画する〈モーション録画〉

1 録画したいカメラアイコンを選択します。

2 [モーション録画] をクリックします。

［モーション録画］をクリックします。



メインウィンドウに「モーション録画 ON」と表示されます。
カメラが被写体の動きを感知すると自動的に録画が始まり、動きがなくなると録画を終了します。
「モーション録画」を中止するときは、もう一度［モーション録画］をクリックします。

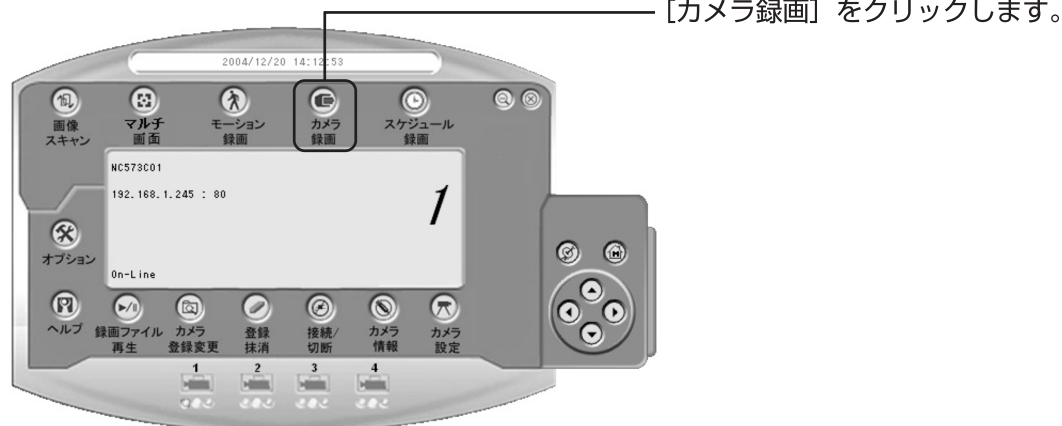
メモ
・動作感知のレベルは、［カメラ設定］－［モーション設定］で設定できます（P.27）。
ただし、被写体や撮影場所の状況により、設定した感度で機能しない場合があります。
・1 録画ごとに 1 ファイルが作成されます。

■手動で録画する〈カメラ録画〉

1 録画したいカメラアイコンを選択します。

2 [カメラ録画] をクリックします。

［カメラ録画］をクリックします。



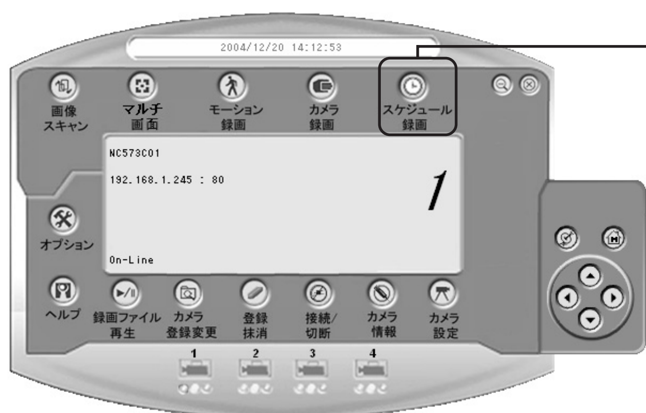
メインウィンドウに「カメラ録画中」と表示され、録画が始まります。
録画を終了するときは、もう一度［カメラ録画」をクリックします。

■日時や曜日を指定して録画する〈スケジュール録画〉

メモ
・録画スケジュールはカメラごとに設定できます。
・録画スケジュールは、1 台のカメラにつき、5 つまで設定できます。

1 録画したいカメラアイコンを選択します。

2 [スケジュール録画] をクリックします。



[スケジュール録画] をクリックします。

3 [スケジュール追加] をクリックします。



[スケジュール追加] をクリックします。

4 表示された画面で、「日付指定モード」か「曜日指定モード」のどちらかを選択し、次のように設定します。

日付指定モード　指定した日時に録画を行います。
録画する日を「西暦／月／日」の形式で入力します。▼ をクリックしてカレンダを表示させ、日付を選択して入力することもできます。

曜日指定モード　指定した曜日の指定時刻に録画を行います。
時刻を 24 時間制で入力します。
録画したい曜日をクリックします。

モーション録画　スケジュール録画時もモーション録画を ON にできます。



曜日は、複数選択できます。毎日決まった時刻に録画を行う場合は、すべての曜日を選択します。

5 [OK] をクリックします。

6 「スケジュール録画」画面で、[OK] をクリックします。

[OK]をクリックします。

メインウィンドウに「スケジュール録画 ON」と表示されます。
指定した日時になると録画が行われます。
「スケジュール録画」をやめるときは、もう一度［スケジュール録画］をクリックします。

●録画スケジュールを削除する

1 録画スケジュールを削除したいカメラのアイコンをクリックします。

2 [スケジュール録画] をクリックします。

3 削除したいスケジュールを選択して、[削除] をクリックします。

●録画スケジュールを変更する

録画スケジュールを変更するには、以前のスケジュールを削除して、新たにスケジュールを作成します。

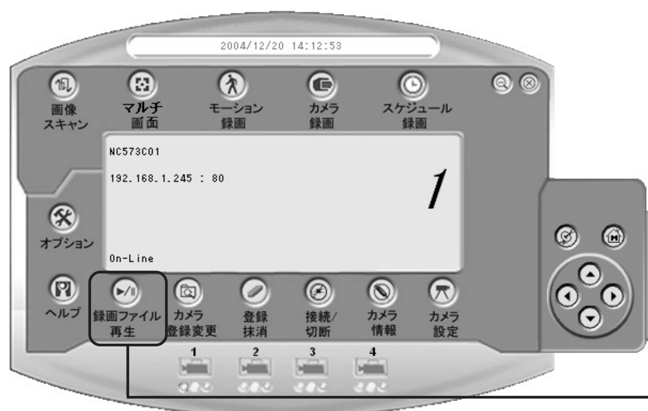
■録画ファイルを再生する

録画ファイルは、Windows Media Player などで再生することができます。


注意

MPEG4 を再生できるアプリケーションをあらかじめインストールしておいてください。

1 メインウィンドウで [録画ファイル再生] をクリックします。



[録画ファイル再生] をクリックします。

2 再生したい録画ファイルの保存場所とファイル名を選択し、[OK] をクリックします。



❶録画ファイルの保存場所とファイル名を選択します。

❷[OK] をクリックします。

メモ

- 工場出荷時の設定では、録画ファイルは、「C：¥corega¥Network Camera」の中の、カメラ別のフォルダに保存されています。
- 録画ファイルの保存場所は、[オプション] – [ファイル保存] で変更できます (P.24)。
- 録画ファイルのファイル名は、録画開始時刻になっています。
  例：20041210151500.avi → 2004 年 12 月 10 日 15 時 15 分 00 秒に録画開始

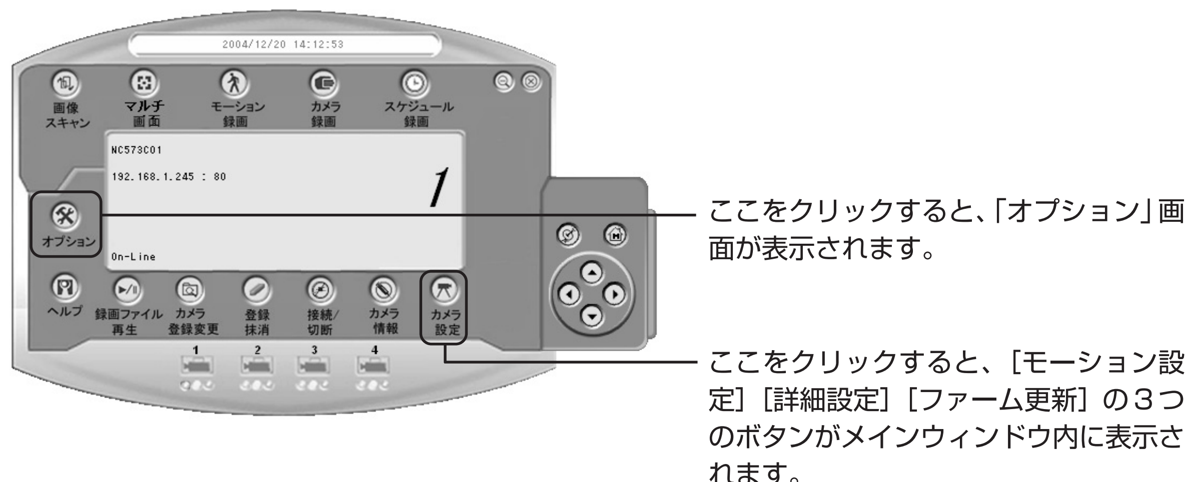
Windows Media Player が起動し、録画ファイルの再生が始まります。

参照

Windows Media Playerの操作方法→Windows Media Playerのヘルプをご覧ください。

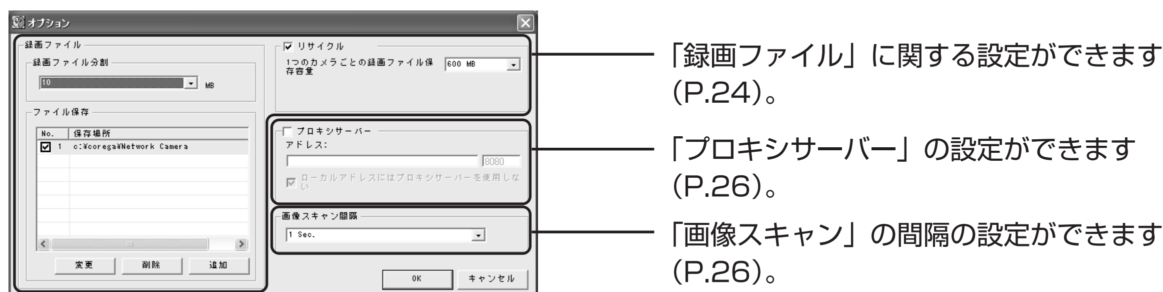
カメラの設定をする

「NCView A」では、録画ファイルの設定や動作感知のレベルの設定などができます。設定は、メインウィンドウの［オプション］または［カメラ設定］から行います。



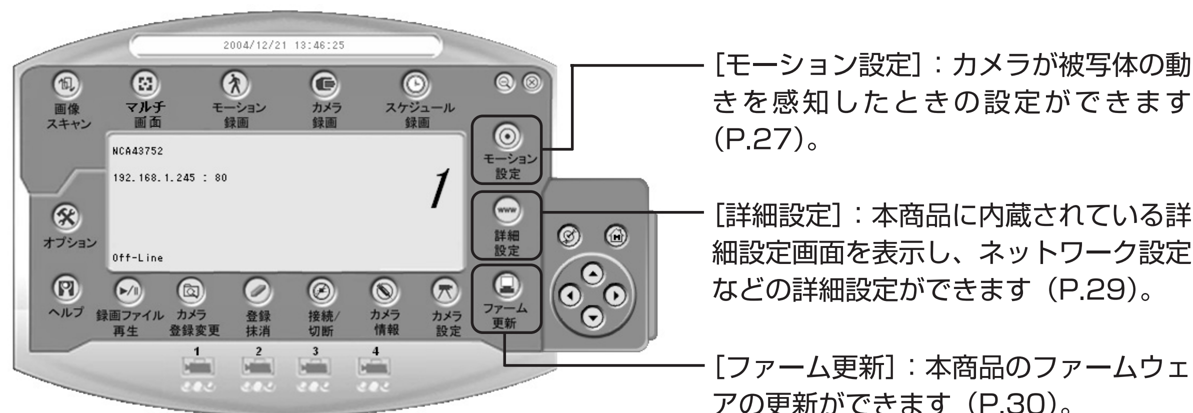
●「オプション」画面で設定できること

「オプション」画面では、次の設定ができます。



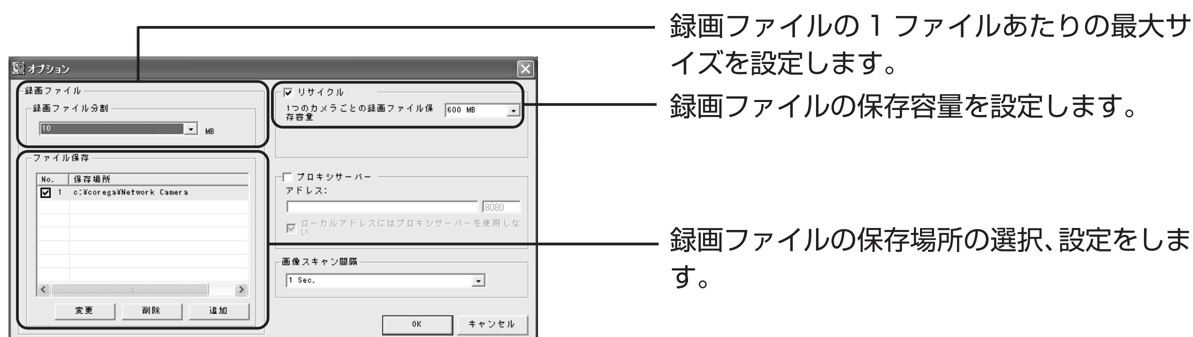
●［カメラ設定］で設定できること

［カメラ設定］をクリックすると、次の３つのボタンが表示されます。



■録画ファイルの設定をする〈オプション〉

録画ファイルの保存容量や保存場所などを設定します。
「オプション」画面で、次のような設定をします。



● 1 ファイルあたりの最大サイズを設定する

録画ファイルの 1 ファイルあたりの最大サイズを設定します。
録画中に、録画ファイルがここで設定したサイズを超えると、自動的に別のファイルが作成されます。
10M バイトから 50M バイトのあいだで選択できます。工場出荷時の設定は、10M バイトです。



・ここで設定したサイズは、およその目安です。
・画質の設定（解像度や圧縮率）によって、1 ファイルに録画できる時間は異なります。

● ファイルの保存場所を設定する

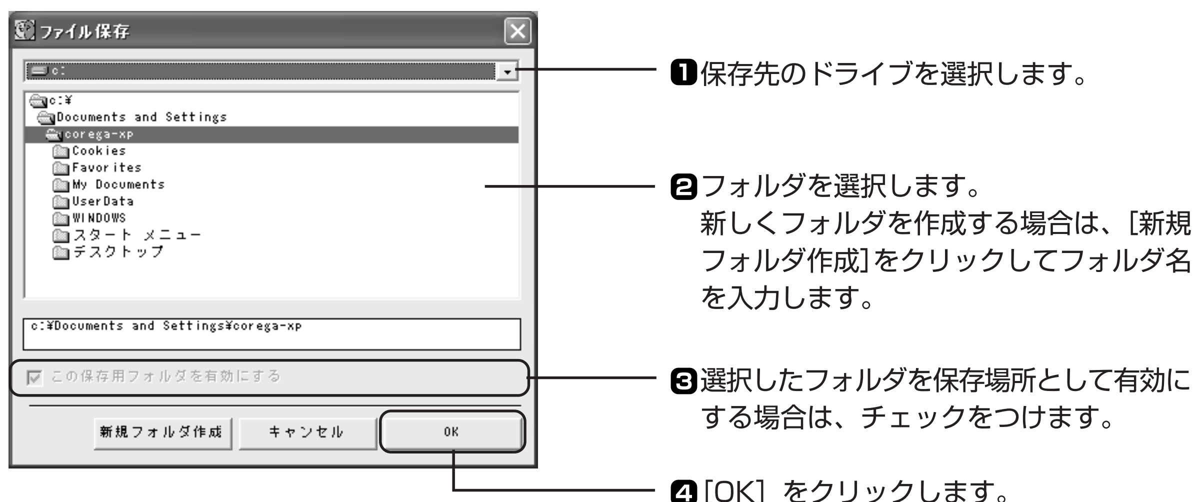
録画ファイルの保存場所を設定します。
録画をすると、ここで設定したフォルダの中に、カメラごとのフォルダが自動的に作成され、録画ファイルが保存されます。
保存場所は、最大 16 か所作成できます。
保存場所には、作成した順に番号がつけられます。必要に応じて、使用する保存場所を選択することができます。
パソコンのハードディスクを複数のドライブに分けている場合は、別のドライブのフォルダを登録し複数の保存場所を選択しておくことで、1 つのドライブがいっぱいになった場合に自動的に次の保存場所に録画ファイルを保存できます。
複数の保存場所を選択した場合は、番号の小さい順に保存されます。

保存場所を変更／追加するときは、次のように設定します。

1 「オプション」画面で、[変更] または [追加] をクリックします。



2 「ファイル保存」画面で、次のように設定します。



3 「オプション」画面で、[OK] をクリックします。

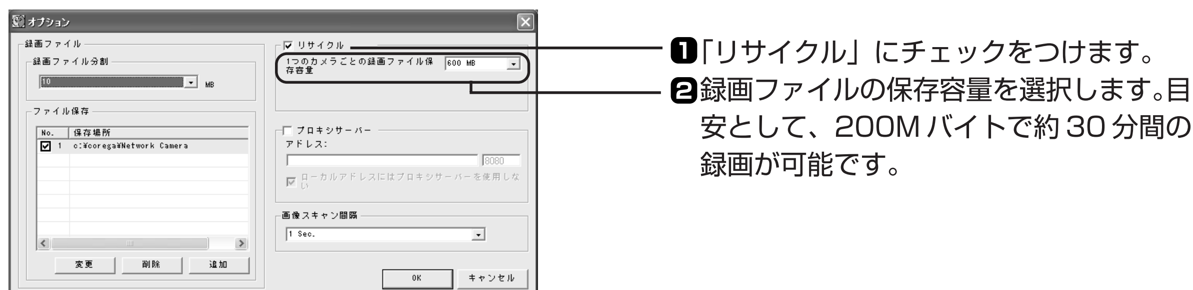


- 録画ファイルの保存を確実に行うため、保存先のフォルダは、ルートから４階層以内にしてください。
- 保存場所を削除するときは、「オプション」画面で、削除したい保存場所を選択して［削除］をクリックします。

●録画ファイルの保存容量を設定する

録画ファイルの容量が増えてシステムが不安定になるのを防ぐため、1つのカメラが保存できる録画ファイルの保存容量を設定することができます。録画ファイルの保存容量がここで設定した容量より大きくなると、古いファイルから自動的に削除されます。

「オプション」画面で、次のように設定します。





ご使用の環境に応じて、設定した保存容量での録画可能時間は変わります。

■プロキシサーバの設定をする〈オプション〉

「NCView A」を使用しているパソコンのネットワークで、インターネット接続にプロキシサーバを使用している場合は、「NCView A」でプロキシサーバの設定が必要です。



「NCView A」を使用しているパソコンにプロキシサーバの設定がしてある場合は、同じ設定をしてください。

「オプション」画面で、次のように設定します。



下の表を参考に「プロキシサーバー」の設定をします。

項　目	設定例	説　明
プロキシサーバー	−	プロキシサーバを使用する場合は、チェックをつけます。
アドレス	proxy.isp.ne.jp:8080	プロキシサーバのアドレスとポート番号を入力します。工場出荷時のポート番号は「8080」になっています。
ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない	−	チェックをつけると、同一ネットワーク内のカメラにアクセスするときにプロキシサーバを経由しないでアクセスできます。プロキシサーバを経由しない方が、すばやくカメラにアクセスできます。

■画像スキャンの間隔を設定する〈オプション〉

[画像スキャン]で、複数台のカメラの画像を切り替えて表示させるときに、カメラを切り替える間隔を設定します。「オプション」画面の「画像スキャン間隔」で、間隔を選択します。1 秒から 20 秒のあいだで、1 秒間隔で設定できます。工場出荷時の設定は、「1 sec.」(1 秒)です。

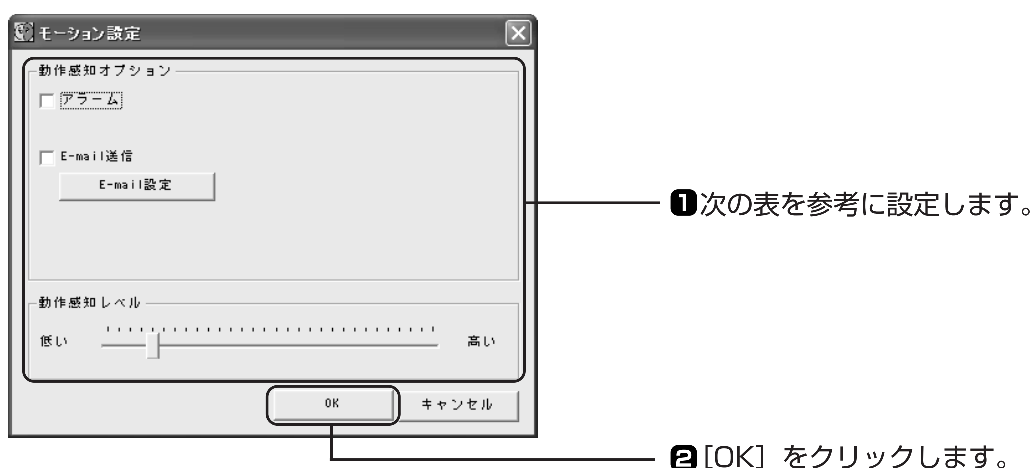
■カメラが被写体の動きを感知したときの設定をする〈モーション設定〉

カメラが被写体の動きを感知したときに、アラームを鳴らしたり、画像をメールで送信することができます。また、被写体の動きを感知する感度も設定できます。

1 モーション設定を行いたいカメラのアイコンをクリックします。

2 メインウィンドウの［カメラ設定］－［モーション設定］をクリックします。

3 「モーション設定」画面で次のように設定します。



項　目	説　明
アラーム	カメラが被写体の動きを感知したときに、パソコン上でアラーム（パソコンの警告音）を鳴らすことができます。
E-mail 送信	カメラが被写体の動きを感知したときに、画像（JPEG形式の静止画像）を指定したメールアドレスに送信することができます。設定については、次の「E-mail 設定について」をご覧ください。
動作感知レベル	カメラが被写体の動きを感知するレベルを設定します。つまみを左右に動かして調整してください。レベルを高くするほど、鈍い動作にも反応するようになります。


注 意

「動作感知レベル」は、被写体や撮影場所の状況（照度の急激な変化など）により、設定した感度で機能しなかったり、逆に設定した感度以下でも機能する場合があります。

● E-mail 設定について

1 「モーション設定」画面で［E-mail 設定］をクリックします。

2 「E-mail 設定」画面で、次のように設定します。

E-mail設定
メールサーバーアドレス：
smtp.isp.ne.jp
送信元アドレス：
fromname.isp.ne.jp
送信先アドレス：
toname.isp.ne.jp
件名：
リビングのカメラ
ユーザー名：
corega
パスワード：
****
送信間隔：
5 秒
OK　キャンセル

❶下の表を参考に設定します。

❷［OK］をクリックします。

項　目	設定例	説　明
メールサーバーアドレス	smtp.isp.ne.jp	メールサーバ（SMTPサーバ）のアドレスを入力します。IPアドレスまたは、ドメイン名で入力してください。
送信元アドレス	fromname @ isp.ne.jp	画像を添付した電子メールの送信元の電子メールアドレス（送り主）を設定します。
送信先アドレス	toname @ isp.ne.jp, toname2 @ isp.ne.jp, toname3 @ isp.ne.jp	画像を添付した電子メールの送信先の電子メールアドレス（送り先）を設定します。メールアドレスとメールアドレスの間に「,」（カンマ）を入力することにより最大3つまでメールアドレスを設定できます。
件名	リビングのカメラ	カメラから送信されるメールの件名を入力します。設置場所、カメラ名等分かりやすい件名を入力しておくと便利です。
ユーザー名	corega	メールサーバへアクセスするためのユーザ名を入力します。SMTP Authのメールサーバを使用している場合のみ使用します。
パスワード	passwordsmtp	メールサーバへアクセスするためのパスワードを入力します。SMTP Authのメールサーバを使用している場合のみ使用します。
送信間隔	5（秒）	メールを送信する間隔を設定します。工場出荷時の設定は、5 秒です。



- 本機能は、SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）を使用しているメールサーバでのみ正常に動作します。POP before SMTP では使用できません。
- メールサーバによっては、電子メールへの添付ファイルの容量に制限がある場合があります。事前にプロバイダまたはネットワーク管理者に相談してください。
- メールサーバによっては、送信元の電子メールアドレスを入力しないと送信されない場合があります。

■カメラの詳細設定をする〈詳細設定〉

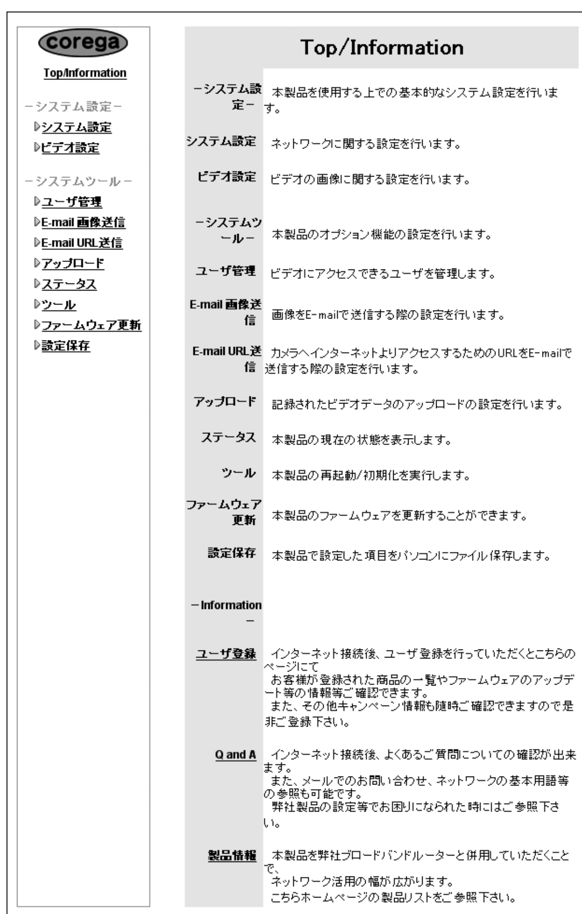
本商品に内蔵されている「Top/Information」画面を表示して、詳細設定をすることができます。

1 詳細設定を行いたいカメラを選択します。

2 メインウィンドウの［カメラ設定］－［詳細設定］をクリックします。

3 ログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力して「OK」をクリックします。

本商品に内蔵されている「Top/Information」画面が表示されます。



「詳細設定」についての説明は、本書の「PART3　Web ブラウザでカメラの設定をする」「設定項目について」(P.38) をご覧ください。

■ファームウェアを更新する〈ファーム更新〉

本商品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアはコレガのホームページ（http://corega.jp/）から入手してください。



・ファームウェアをアップデートする前に、本商品の設定内容をメモしておいてください。
・更新用のファームウェアファイルは、コレガのホームページから入手して、あらかじめ設定用のパソコンに保存しておいてください。
・ファームウェアの更新中は電源を切断したり、カメラの操作を行ったりしないでください

ここでは例として、[c:¥corega]（C ドライブ内のフォルダ名「corega」）に「firm.bin」（ファームウェアのファイル名）を保存した場合で説明します。

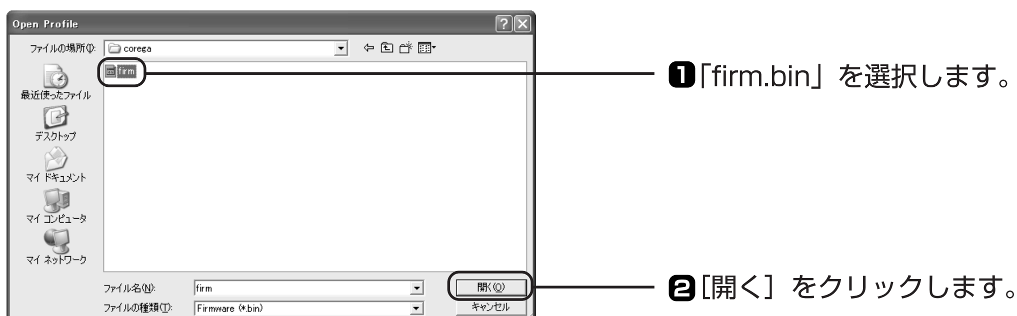
1 ファームウェアを更新したいカメラを選択します。

2 メインウィンドウの［カメラ設定］－［ファーム更新］をクリックします。

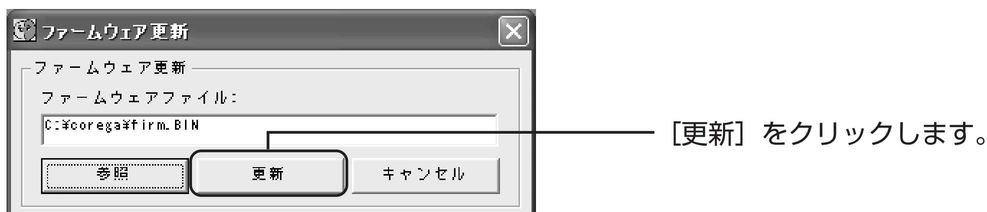
3 ［参照］をクリックします。



4 「corega」フォルダ内の「firm. bin」を選択して、［開く］をクリックします。



5 ［更新］をクリックします。



ファームウェアの更新が始まります。
ファームウェア更新後は自動的に本商品が再起動されます。本商品へのアクセスは切断されます。

PART 2 Webブラウザでカメラの画像を見る

カメラに接続する

パソコンから本商品に接続して、画像を見ることができます。本商品の画像を見るには、本ソフトウェアの「NCView A」だけでなく、Webブラウザからでも見ることができます。接続時には次のことがらに注意してください。

・Internet Explorerを利用する場合は、バージョン5.5以降を押すお勧めします。それ以前のバージョンでは、正常な画像を見ることができない可能性があります。
・パソコンなどでウイルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが稼働していると、本商品の画像表示ができなくなることがあります。セキュリティソフトの設定変更または停止、稼働の方法は、セキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。

メモ
・Mac OS X（10.3以上）を搭載したMacintoshでSafari（1.2以上）を使用し本商品の画像を見ることができます。ただし、本商品の操作（パン&チル、ズーム）や設定変更はできません。
・Webブラウザから画像（動画）を見るには、Java Plug-in 1.3.1_0（Java 2 Runtime Environment, Standard Edition(JRE)）以上が必要です。


注意

Macintoshでの動作はサポート対象外となります。

パソコンから本商品の画像を見るには、パソコンと本商品を直結、LAN内から接続、無線LANで接続、xDSLモデムなどと直結、ルータを経由してインターネット側から接続など、さまざまな方法で画像を見ることができます。ここではLAN内からの接続とインターネット経由での接続の場合について説明します。

●LAN内から接続する

1 「ネットワークの設定をする〈システム設定〉」（P.41）で、LAN内から接続するための設定を完了しておきます。

2 本商品に接続するパソコンから、Webブラウザを起動します。

3 Webブラウザのアドレス入力欄に本商品のIPアドレスとポート番号を次のように入力し、キーボードの【Enter】を押します。

例：IPアドレスを「12.34.56.78」、ポート番号を「81」に設定した場合
→http://12.34.56.78:81

アドレス(D) http://12.34.56.78:81

本商品のIPアドレスとポート番号を入力します。

メモ
ポート番号を「80」（工場出荷時）に設定している場合は、ポート番号を入力する必要はありません。

4 P.56の「カメラに接続できるユーザを制限する〈ユーザ管理〉」でユーザの登録を行っている場合は、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますので、所有者またはユーザ用のログイン名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

次の画面は Windows XP のものですが、他の OS でも手順は同じです。



❶所有者またはユーザ用のログイン名を入力します。
❷所有者またはユーザ用のパスワードを入力します。



・工場出荷時の状態では、ログイン名とパスワードは設定されていませんので、この画面は表示されません。「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。
・所有者のログイン名、パスワードは忘れないようにしてください。

5 「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。

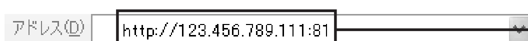
●インターネット経由で接続する

1 「ネットワークの設定をする〈システム設定〉」(P.41) で、ルータ経由でインターネットから接続するための設定を完了しておきます。

2 本商品に接続するパソコンから、Web ブラウザを起動します。

3 Web ブラウザのアドレス入力欄に、本商品の IP アドレスまたは URL とポート番号を次のように入力し、キーボードの【Enter】を押します。

・ルータの WAN 側に固定のグローバル IP アドレスを利用する場合
例：グローバル IP アドレスを「123.456.789.111」、ポート番号を「81」に設定した場合
→ http://123.456.789.111:81



本商品に設定した固定のグローバル IP アドレスとポート番号を入力します。

・ダイナミック DNS サービスから取得した URL を利用する場合
例：URL を「networkcamera.server.cc」、ポート番号を「81」に設定した場合
→ http://networkcamera.server.cc:81



ダイナミック DNS サービスから取得した URL とポート番号を入力します。

メモ
ポート番号を「80」(工場出荷時)に設定している場合は、ポート番号を入力する必要はありません。

4 **P.56の「カメラに接続できるユーザを制限する〈ユーザ管理〉」でユーザの登録を行っている場合は、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますので、所有者またはユーザ用のログイン名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

次の画面は Windows XP のものですが、他の OS でも手順は同じです。



❶所有者またはユーザ用のログイン名を入力します。
❷所有者またはユーザ用のパスワードを入力します。

メモ
・工場出荷時の状態では、ログイン名とパスワードは設定されていませんので、この画面は表示されません。「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。
・所有者のログイン名、パスワードは忘れないようにしてください。

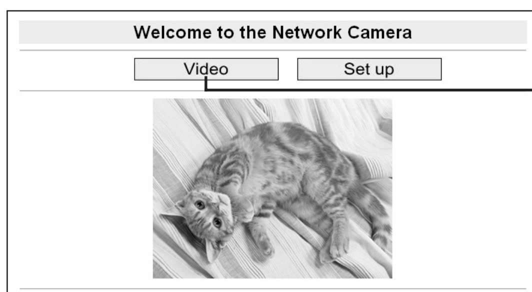
5 **「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。**

画像 / 動画を見る

パソコンから本商品に接続して画像を見ることができます。本商品の画像を見るには、添付の「NCView A」だけでなく、Web ブラウザを使って見ることもできます。また、本商品の画像を直接見ることができない場合には、電子メールに画像を添付して送信したり、FTP サーバに画像を登録して見ることもできます。FTP でのファイルの登録先を、公開用のホームページを置いてある場所にして画像を表示する設定にしておけば、本商品の画像を公開用のホームページから見ることもできます。なお、接続時の注意として、「カメラに接続する」(P.31)をご覧ください。

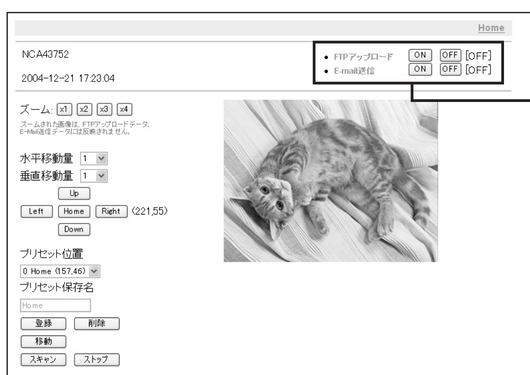
■本商品の画像を Web ブラウザで見る

1 **Web ブラウザを利用して本商品に接続すると、「Welcome to the Network Camera」画面が表示されます。[Video] をクリックします。**



[Video] をクリック

2 本商品の画像が表示されます。



FTP に画像を登録、または電子メールに画像を添付して送る場合は、[ON] をクリックします。(右側の[OFF]の表示が[ON]に変わります)

項　目	説　明
FTP アップロード ON OFF	「アップロード」画面で「FTPサーバに手動でアップロードする」を選択した場合に有効になります（P.61）。[ON] をクリックすると、画像（静止画）を指定したFTPサーバにアップロードします。実行中は右側の表示が「OFF」から「ON」に変わり、「ON」になっている間アップロードを続けます。
E-mail 送信 ON OFF	「E-mail 画像送信」画面で「画像を手動で送信する」を選択した場合に有効になります。[ON] をクリックすると、画像（静止画）を撮影して電子メールに添付し、指定した送信先に送信します。実行中は右側の表示が「OFF」から「ON」に変わり、「E-mail 画像送信」で設定した間隔で E-mail を送信し続けます。

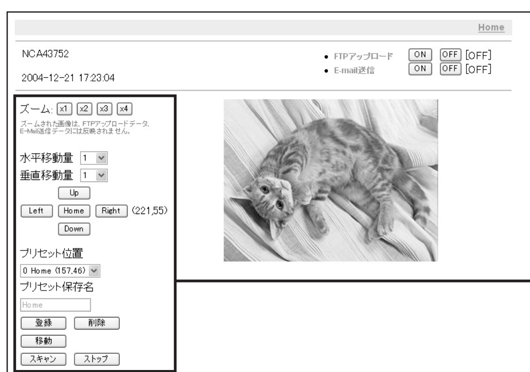

注 意

・撮影頻度が高くなると、登録先の FTP サーバや電子メールサーバが一杯になってしまい、電子メールの送信や FTP サーバへのアップロードができなくなってしまいますので、ご注意ください。
・1台のカメラに一度に多数の人数がアクセスすると画像がうまく表示できなくなる場合があります。


参照

撮影頻度について→「画像をFTPにアップロードする（FTPサーバの設定）〈アップロード〉」(P.61)、「画像をメールで送信できるようにする〈E-mail 画像送信〉」(P.58)

3 Web ブラウザの左側に表示されているボタンで本商品を操作することができます。



次の表を参考に操作します。

項　目	説　明
ズーム	×１～×４まで、４段階で画面をズーム（拡大）することができます。
水平 / 垂直移動量	１クリックで動く距離を調節します。数が大きくなるほど、動く距離も大きくなります。
移動ボタン	上下左右にカメラの角度を調節することができます。操作方法は「PART1 NCView Aでカメラを操作する」「カメラの向きを調節する」（P.13）をご覧ください。
プリセット位置	任意のカメラ角度を登録し、簡単な操作でその方向にカメラを向けることができます。詳しくは「PART4 トラブルや疑問があったら」「Q&A」「カメラの角度を登録したい〈プリセット〉」（P.80）をご覧ください。
スキャン / ストップ	「カメラの向きを調節する」（P.13）の「スキャン機能」と同じ動作になります。スキャンの回転を途中で停止させるときは、[ストップ]ボタンをクリックします。

■本商品の画像を携帯電話で見る

1 「http://xxx.xxx.xxx.xxx/i」を携帯電話のURL入力欄に入力して接続します。（「xxx.xxx.xxx.xxx」の部分にはグローバルIPアドレスまたはダイナミックDNSサービスから取得したURLを入力してください）

例：グローバルIPアドレスが123.456.789.111、ダイナミックDNSがcore-net.server.ccを取得している場合
→ http://123.456.789.111/i または http://core-net.server.cc/i になります。

2 画像が表示されます。



各番号のダイヤルキーを押すと、それぞれの方向にカメラ角度が動きます。

ダイヤルキー「5」を押すと、画像が最新のものに更新されます。



・カメラ角度調節により、回転可能角度の限界まで移動したときは、そのキー番号と矢印は表示されなくなります。

例:左側に限界まで回転させたとき

④←②↑⑧↓⑥→　⇒　②↑⑧↓⑥→　（④が表示されなくなります）
⑤更新　　　　　　⑤更新

・本商品の画像解像度は160×120を選択してください。ただし、携帯電話の機種によっては、160×120を選択しても、指定した解像度で表示されないことや画像自体が表示されないことがあります。

・ネットワークカメラのすべての画面にセキュリティを設定しているときは、セキュリティ機能に対応している携帯電話しか接続できません。

・携帯電話によって、ポート番号が80しか使用できないことがあります。

設定画面を開く

本商品の設定は Web ブラウザでも行えます。

●本商品の設定を行うときの注意

- Internet Explorer を利用する場合は、バージョン 5.5 以降をお勧めします。それ以前のバージョンでは、正常に設定が行えない場合があります。
- 本商品の設定を行う場合には、パソコンと本商品を直結、LAN 内から有線接続など、できる限り単純なネットワーク構成で設定を行うことをお勧めします。
- パソコンのIPアドレスは固定にしておいてください。固定方法は「PART4 トラブルや疑問があったら」「パソコンの IP アドレスを設定したい」（P.81）をご覧ください。
- 設定用のパソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが稼働していると、本商品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティソフトを停止させて本商品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 以下の説明は、工場出荷時の設定の場合で説明しています。

1 **本商品に接続されたパソコンで、Web ブラウザを起動します。**

2 **Webブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.1.245」と入力し、キーボードの【Enter】を押します。**

アドレス(D) http://192.168.1.245/ ―― IP アドレスを入力します。



IP アドレスを変更している場合は、変更した IP アドレスを入力してください。

3 **「ユーザー名」と「パスワード」を入力する画面が表示されたら、所有者またはユーザ用のログイン名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

次の画面は Windows XP のものですが、他の OS でも手順は同じです。





工場出荷時の状態では、ログイン名とパスワードは設定されていませんので、この画面は表示されません。また、P.31 の「カメラに接続する」で設定したログイン名とパスワードでログインした場合もこの画面は表示されません。

「Welcome to Network Camera」画面が表示されます。

4 [Set up] をクリックします。



[Set up］をクリックします。

「Top/Information」画面が表示されます。



ユーザ用のログイン名、パスワードでは本商品の設定を変更できません。所有者のユーザ名、パスワードを入力する画面が表示されますので、画面にしたがって入力してください。

5 設定したい項目をクリックします。



撮影した画像が表示されます。

「Welcome to the Network Camera」画面に戻ります。

設定したい項目をクリックします。

各項目の設定画面が表示されます。

設定が完了したら、設定内容を保存した後、再起動が必要になる項目もあります。



再起動について→「カメラを再起動する〈ツール〉」(P.64)

設定項目について

本商品の設定画面の全体構成について説明します。

Welcome to the Network Camera ………	初期画面です。
├ Video………	撮影されている画像が表示されます(P.33)。
└ Set up ………	本商品の設定を行います。
└ Top/Information ………	設定の概要やユーザ登録、Q&A、製品情報について紹介しています。
├ システム設定※………	ネットワークへの接続設定、無線設定、ダイナミックDNSなどの設定を行います(P.39)。
├ ビデオ設定※………	表示される画像の解像度や明るさ、色彩などの設定を行います(P.54)。
├ ユーザ管理………	ユーザの追加/削除を行います(P.56)。
├ E-mail 画像送信 ………	本商品の画像を電子メールへ転送するための設定をします(P.58)。
├ E-mail URL送信………	WAN側IPアドレスが変更になった場合など、新たなIPアドレス(URL)を電子メールに送信するための設定をします(P.60)。
├ アップロード ………	FTPへのアップロードを設定します(P.61)。
├ ステータス………	本商品のネットワーク情報を表示します(P.63)。
├ ツール ………	本商品を工場出荷時の状態に戻したり、再起動を行います(P.64)。
├ ファームウェア更新………	本商品のファームウェアがアップデートされたときに、更新することができます。
└ 設定保存………	本商品に設定した内容をパソコンに保存することができます。

※NCSetupで設定される内容と同じです。


注 意

「システム設定」「E-mail画像送信」「E-mailURL送信」で[保存]をクリックした場合、本商品は自動的に再起動されます。再起動終了後に設定が反映されます。再起動中は本商品への接続が一時的に中断されるのでご注意ください。

カメラの名前を設定する〈システム設定〉

本商品に名前や設置場所を設定します。設定しておくと、複数台利用時にどの場所でどのカメラを使用しているかを判別するのに便利です。

1 「設定画面を開く」(P.36) の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

デバイス名	Living-camera
説明	水槽の中の熱帯魚

❶カメラの名前を入力します。
❷カメラの設置場所などを入力します。

項　目	入力例	説　明
デバイス名	Living-camera	この項目には、カメラに任意の名前を入力します。特に製品名を入力する必要はありません。工場出荷時は、「NCxxxxxx」とxの部分にMACアドレスの下6桁が入力された状態になっています。名称の最大入力文字数は半角英数字で32文字までです。
説明	水槽の中の熱帯魚	この項目には、カメラを利用している場所・地域などを入力してください。工場出荷時は何も入力されていません。最大入力文字数は半角英数字で64文字までです。全角文字での入力も可能です。

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。

セキュリティの設定をする〈システム設定〉

所有者以外のユーザが、本商品の設定内容を変更できないようにするため、本商品の所有者のログイン名、パスワードの設定をします。ログイン名とパスワードを設定すると、設定画面を開く際にログイン名とパスワードの入力が必要になります。


注 意

- 第三者からの不正アクセスを防止するためにも、所有者のログイン名、パスワードはご購入後または工場出荷時の設定に戻した後は、できるだけ早めに設定し、その後は定期的に変更することをお勧めします。
- 設定したログイン名、パスワードは忘れないようにしてください。ログイン名、パスワードを忘れると、本商品の設定を変更できなくなります。忘れた場合は、本商品の設定を工場出荷時の状態に戻してください。工場出荷時の状態に戻すとログイン名、パスワードは設定されない状態になります。また、今まで設定していた情報がすべて消えてしまい、購入したときの設定に戻りますので、重要な設定をしている場合は、その設定内容を事前に書き残すなど、後ですぐに設定し直せるように準備しておいてください。

1 「設定画面を開く」(P.36) の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

ログイン　ログイン名 : corega
新しいパスワード : ●●●●●●●●●
パスワードの確認 : ●●●●●●●●●

❶「ログイン名」に所有者のログイン名を入力します。
❷「新しいパスワード」に所有者のパスワードを入力します。
❸確認のため、「新しいパスワード」に入力したパスワードを「パスワードの確認」に再度入力します。

項　目	入力例	説　明
ログイン名	corega	所有者のログイン名を入力します。入力できる文字数は4～12文字、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。なお、工場出荷時は、ログイン名は設定されていません。
新しいパスワード	password	パスワードを入力します。パスワードは画面上では「*」や「●」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。入力できる文字数は4～8文字、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。なお、工場出荷時は、パスワードは設定されていません。
パスワードの確認	password	パスワードは確認のため、最初の「新しいパスワード」と「パスワードの確認」に、必ず同じパスワードを入力してください。パスワードは画面上では「*」や「●」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。

ネットワークの設定をする〈システム設定〉

本商品を接続するネットワークの環境によって設定が異なります。プロバイダまたはネットワーク管理者から指定された情報（IP アドレス、サブネットマスク、ポート番号、デフォルトゲートウェイ、DNS（Domain Name System）サーバなど）を設定前に用意してください。

●本商品とパソコンを直接接続する（有線接続）

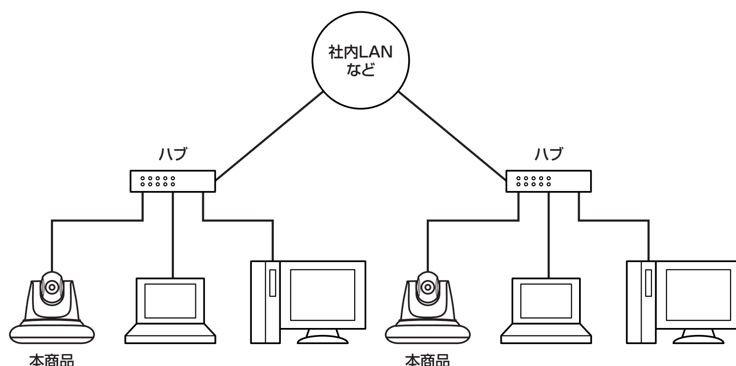
本商品とパソコンを直接接続するときは、本商品の設定は必要ありません。



● IP の取得方法

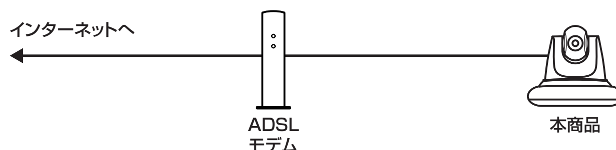
〈LAN 内で見るとき〉

・固定 IP アドレスを設定する場合（本商品に固定 IP アドレスを設定する場合）...................... P.43
・IP アドレスを自動で割り当てられる場合（DHCP サーバを利用している場合）.................... P.44



〈モデムに直接接続してインターネット上で見るとき〉

・固定 IP アドレスを設定する場合（プロバイダから固定 IP アドレスを取得した場合）........... P.43
・IP アドレスを自動で割り当てられる場合（Yahoo! BB などで接続している場合）................ P.44
・PPPoE を設定する場合（フレッツ・ADSL や B フレッツなどで接続している場合）.......... P.45

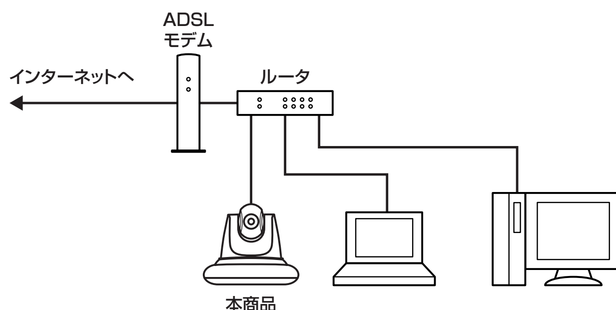


〈ルータに接続してインターネット上で見るとき〉



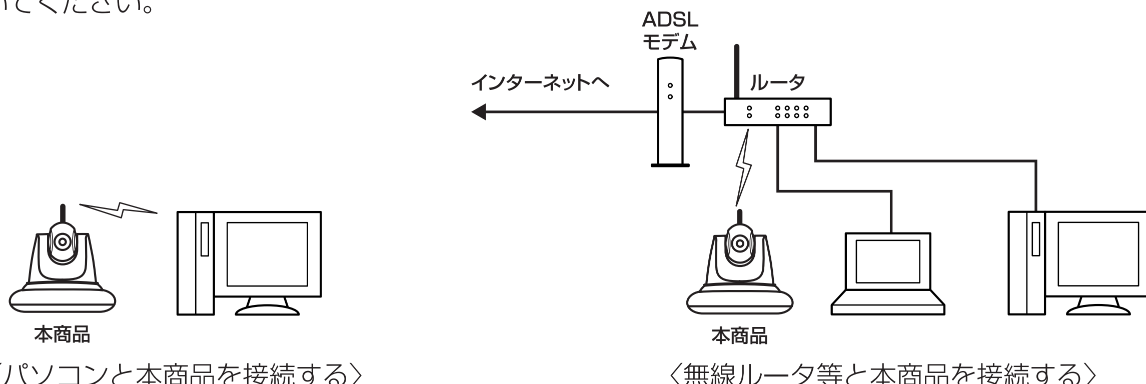
・ルータに接続して使用するときは、本商品が使用するIP アドレスはプライベートIP アドレスとなります。取得方法はルータなどのDHCPサーバ機能による自動取得か、ネットワーク管理者から割り当てられる固定IP アドレスを使用してください。

・インターネットから本商品の画像（動画）を見る場合、ルータの設定を変更する必要があります。詳しくはお使いのルータの取扱説明書をご覧ください。



●無線の設定方法（CG-WLNCPTG のみ）…P.46

パソコンと本商品を無線で直接接続したり、アクセスポイントや無線ルータ等を使用してインターネットに接続する場合は、無線の設定をする必要があります。「無線の設定をする（CG-WLNCPTGのみ）〈システム設定〉」（P.46）をご覧ください。
なお、無線でパソコンに直接接続する前に、パソコンと有線接続して、無線接続のための設定を完了しておいてください。



〈パソコンと本商品を接続する〉　〈無線ルータ等と本商品を接続する〉

●ダイナミック DNS の設定方法…P.48

インターネット上からURL を指定して、本商品に接続する場合は、ダイナミックDNS の設定をする必要があります。
「URL を指定して画像を見る（ダイナミックDNS の設定）」（P.48）をご覧ください。

■固定IPアドレスを設定する場合

固定IPアドレスを利用したネットワーク環境に接続するときに必要な情報を設定します。設定内容については、プロバイダやネットワーク管理者にご確認ください。

1 「設定画面を開く」(P.36)の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

IP設定
◎ 固定IPアドレス
IPアドレス : 12.34.56.78
サブネットマスク : 255.255.255.255
ゲートウェイ : 12.34.56.1
優先DNSサーバ : 12.34.56.98
代替DNSサーバ : 12.34.56.99

❶「固定IPアドレス」をクリックします。

❷次の表を参考に、指定された情報を入力します。

項　目	入力例	説　明
IPアドレス	12.34.56.78	本商品に設定したいIPアドレスを入力します。工場出荷時には「192.168.1.245」が設定されています。
サブネットマスク	255.255.255.0	指定されたサブネットマスクのアドレスを入力します。工場出荷時には「255.255.255.0」が設定されています。
ゲートウェイ	12.34.56.1	指定されたゲートウェイのアドレスを入力します。ルータを使用してインターネット環境に接続する場合は、プロバイダが指定するゲートウェイではなく、ご使用のルータのIPアドレス（LAN側）を設定してください。
優先DNSサーバ	12.34.56.98	指定された優先DNSサーバのアドレスを入力します。
代替DNSサーバ	12.34.56.99	指定された代替DNSサーバのアドレスを入力します。



・固定IPアドレスを設定してルータに接続する場合は、ルータと同一ネットワーク（セグメント）に設定する必要があります。
（例）ルータのIPアドレスが192.168.0.1の場合、本商品のIPアドレスは192.168.0.xxx（xxxは2～254までの任意の数字）に設定できます。
・ネットワーク内でIPアドレスが重複しないようにしてください。

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。

■ IP アドレスを自動で割り当てられる場合

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバ機能（DHCP サーバがIP アドレスを自動的に割り振る機能）を利用したネットワーク環境に接続するときに必要な情報を設定します。設定内容については、プロバイダやネットワーク管理者にご確認ください。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

❶「IP アドレス自動取得」をクリックします。

❷「DHCP」をクリックします。

❸DNSサーバのアドレスを自動取得する場合は、「自動取得」を選択します。DNSサーバのアドレスを指定されている場合は、「固定 IP アドレスを設定する場合」（P.43）を参考に、指定された情報を入力します。

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。

■ PPPoE で設定する場合

PPPoE（Point to Point Protocol over Ethernet）を利用したネットワーク環境に接続するときに必要な情報を設定します。設定内容については、プロバイダやネットワーク管理者にご確認ください。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

❶「IP アドレス自動取得」をクリックします。

❷「PPPoE」をクリックします。

❸次の表と「固定 IP アドレスを設定する場合」（P.43）を参考に、指定された情報を入力します。

項　目	入力例	説　明
ユーザ名	myname@isp.ne.jp	指定されたユーザ名（プロバイダによって呼び方が異なる場合があります）を入力します。入力できる文字数は64文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。
パスワード	password02	指定されたパスワード（プロバイダによって呼び方が異なる場合があります）を入力します。パスワードは画面上では「●」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。入力できる文字数は32文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。

■無線の設定をする（CG-WLNCPTG のみ）

本商品は、IEEE802.11gの無線規格に対応しています。本商品を無線LANで運用するときは、無線の設定を行ってください。


注 意

通信相手の機器がIEEE802.11g規格に対応し、通信できる状態であることを確認しておいてください。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

ワイヤレス設定
通信モード : ◉インフラストラクチャモード ◯アドホックモード
ESSID : corega
チャンネル : 6
暗号化 : ◉無効
◯WEP
Length : ◉64bits ◯128bits
Key 1 :
Key 2 :
Key 3 :
Key 4 :
デフォルトキー : Key 1
認証方式 : Auto
◯ WPA-PSK（パーソナル）
共有キー : PSK12345

次の表を参考に設定します。

項　目	説　明
通信モード	無線LANアクセスポイントを使用して本商品とパソコン間で無線LANのネットワークを構成しているときは「インフラストラクチャモード」、本商品とパソコン間を直接通信する無線LANのネットワークを構成しているときは「アドホックモード」を選択します。
ESSID	無線LANに接続する機器を識別する名前です。SSIDと呼ばれることもあります。同じ無線LANに接続する機器には、同じESSIDを設定してください。ESSID には、32 文字以内の、半角英数文字および半角記号を使用できます。 使用できる半角記号は、次の通りです。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { ¦ } . 工場出荷時は「corega」になっています。
チャンネル	使用する電波の周波数（無線チャンネル）で、1 〜 13 の間で設定できます。 アドホックモードで使用する場合は、使用する電波の周波数を設定します。無線LANに接続するすべての機器に、同じチャンネルを設定する必要があります。工場出荷時は「6」に設定されています。 インフラストラクチャモードで使用する場合はチャンネルを自動的に認識するので設定する必要はありません。
暗号化	通信内容を暗号化するWEP機能またはWPA-PSK（パーソナル）機能を利用するかどうかを選択します。無線 LAN に接続するすべての機器で同じ暗号化の設定をする必要があります。 「無効」を選択すると、通信内容は暗号化されません。 工場出荷時は、暗号化はされていません。

<table>
<tr><th>項　目</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td>WEP</td><td>通信内容を暗号化するためのWEPキー（暗号キー）を設定します。64Bits、128Bitsのどちらかのラジオボタンをクリックし、Key1～Key4のそれぞれについて次のようにWEPキーを入力してください。
<table>
<tr><th>暗号化</th><th>WEP キー</th></tr>
<tr><td>64bits</td><td>16進数（0～9、a～f）で10桁の数字を入力
例：0123456789</td></tr>
<tr><td>128bits</td><td>16進数（0～9、a～f）で26桁の数字を入力
例：01234567890123456789abcdef</td></tr>
</table>
無線LANに接続するすべての機器で同じWEPキーを設定する必要があります。入力する文字数に過不足がないように注意してください。文字数が少ないと、WEPキーが正しく生成されず、正常に接続できなくなる可能性があります。</td></tr>
<tr><td>デフォルトキー</td><td>Key1～Key4のうち、使用するキーを選択します。</td></tr>
<tr><td>認証方式</td><td>暗号化で使用する認証方式を選択します。
認証方式には「Open System」、「Shared Key」、「Auto」の３種類があります。通信相手の機器と同じものを選択してください。
通常は、工場出荷時の「Auto」（自動設定）を選択してください。</td></tr>
<tr><td>WPA-PSK
（パーソナル）</td><td>WPA-PSK（パーソナル）機能で使用する共有キーを設定します。共有キーには、8～63文字の半角英数字記号を入力します。無線LANに接続するすべての機器で同じ共有キーを設定する必要があります。</td></tr>
</table>

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。



・パソコン（特に無線LAN機能内蔵のノートパソコン）によっては、特定のチャンネルに対応していないものがあります。お使いのパソコンの仕様を確認して、別のチャンネルに変更してください。

・WPA-PSKの暗号化はTKIPのみの対応となります。



お使いの無線LAN機器によっては、64bit WEPは40ビット、128bit WEPは104ビットと表記される場合があります。

■URL を指定して画像を見る（ダイナミック DNS の設定）

インターネット上からURL を指定して本商品に接続できるように、ダイナミックDNS（DDNS）の設定をします。接続環境によって次の設定が必要です。

・インターネットに直接接続する（xDSL モデムなどに直接接続する）
　→本商品にダイナミック DNS の設定が必要です。
・ルータを使用してインターネットに接続する
　→ルータにバーチャルサーバとダイナミック DNS の設定が必要です。



・ルータにダイナミック DNS 機能がある場合は、ルータ側でダイナミック DNS の設定を行い、本商品のダイナミック DNS 機能は使用しないでください。
・ダイナミック DNS 機能に対応している弊社製ルータにつきましては、弊社ホームページ（http://corega.jp/）でご確認ください。



弊社製品では、ポート開放機能をバーチャルサーバと呼びますが、他社製品でポートフォワーディング、静的 IP マスカレード、ポートマッピングなどと呼ぶ場合もあります。詳細はご使用のルータの取扱説明書をご覧ください。

1 **ダイナミック DNS サイトでサービスに登録手続きをします。**
ここでは、例として「http://dp-21.net」（Ivy Network）に登録しています。
登録が完了すると、ユーザ登録確認メールが送られてきます。

2 **「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。**

3 **「システム設定」画面で次のように設定します。**

ダイナミックDNS　◉有効　○無効
DDNSサービス　Ivy Network
ドメイン名　core-net
ユーザ名　corega
パスワード　●●●●●●●●●●●

❶「有効」にチェックを付けます。
❷次の表とユーザ登録確認メールを参考に、ダイナミック DNS を利用するための設定を行います。指定された情報を入力します。

※画面は一例です

項　目	入力例	説　明
DDNS サービス	－	登録したダイナミック DNS サイトを選択します。
ドメイン名	core-net	ダイナミックDNS サイトで登録した希望のドメイン名を設定します。入力できる文字数は 64 文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。
ユーザ名	corega	ダイナミックDNSサイトで登録したユーザ名を設定します。入力できる文字数は 64 文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。
パスワード	passwordxx	ダイナミックDNS サイトで登録したパスワードを設定します。パスワードは画面上では「●」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。入力できる文字数は32 文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。



・ダイナミックDNSサイトへの登録は、お客様の自己責任で行ってください。登録に関して弊社では一切責任を負いませんので、ご了承ください。
・ネットワークの環境によっては、ダイナミックDNSを利用できない場合があります。
・本商品で利用できるダイナミックDNSサイトは「Dyn DNS」（無料）、「Ivy Network」（有料）、「@Net DDNS」（有料）の3つです。その他のダイナミックDNSサイトはご利用になれません。

4 **入力が終了したら［保存］をクリックします。**

5 **本商品が自動的に再起動します。**

ルータ経由の場合は、ルータにてバーチャルサーバの設定を行います。ルータの設定については、ルータの取扱説明書をご覧ください。

メモ

・本商品を複数台接続している場合も、1つのURLで本商品にアクセスできます。ただし、各カメラにポート番号の設定を行い、URLとポート番号を入力して本商品にアクセスしてください。詳しくは、「ポートの設定をする〈システム設定〉」（P.51）をご覧ください。
・詳しい解説をホームページからご覧になることができます。コレガのホームページ（http://corega.jp/）から「製品情報」－「導入ナビゲーション」の順に選択し、お助けコレガくんシリーズ「ダイナミックDNS活用ガイド」をご覧ください。

LED の設定をする〈システム設定〉

Power LEDとLink/Act LEDの設定を行います。LEDの状態で本商品の状態を把握することができます。基本的に本商品が動作している間はLED が点灯しています。

1 「設定画面を開く」(P.36) の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

LEDコントロール	◉通常 ○消灯 ○ダミー

本商品のLED を使用する場合は「通常」、使用しない場合は「消灯」、ダミーモードにする場合は「ダミー」をクリックしてください。

なお、LED の表示と状態については、次のとおりです。

・「通常」の場合

種類	色	状　態
Power LED	緑色に点灯	電源が入っているとき
	緑色に点滅	ファームウェアのアップグレード中、再起動時のセルフテスト中、異常発生時のいずれか
	消灯	電源が入っていないとき
Link/Act LED	緑色に点灯	待機中（LAN ケーブル接続時）
	緑色に点滅	データ通信中（データの転送時）
	消灯	電源が入っていないとき、LANケーブルが接続されていないとき

・「消灯」の場合

種類	色	状　態
Power LED	消灯	常時
Link/Act LED	消灯	常時

・「ダミー」の場合

種類	色	状　態
Power LED	緑色に点灯	電源が入っているとき
	消灯	電源が入っていないとき
Link/Act LED	緑色にランダムに点滅	常時
	消灯	電源が入っていないとき、LANケーブルが接続されていないとき

3 [保存] をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。

メモ

・「通常」から「消灯」に切り替えたときと「消灯」に設定された状態で再起動したときは、LED が消えるまでにそれぞれ 1 分ほどかかります。
・再起動もしくは電源投入時には、本体内部の動作チェック（セルフテスト）のために強制的にLink/Act LED が数秒間、点滅テスト表示を行います。

ポートの設定をする〈システム設定〉

インターネット接続のときにルータを使用して、同じネットワーク内に2台以上の本商品を使用している場合、常に開かれているポート番号（80）とは別に、それぞれ本商品が使用する独自のポート番号を設定する必要があります。

1 「設定画面を開く」(P.36) の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

セカンドポート	◉有効　○無効 セカンドポート番号: 0

❶セカンドポート番号を設定する場合は「有効」をクリックします。

❷「セカンドポート番号」にセカンドポート番号を設定します。


注意

・ネットワーク環境によっては、工場出荷時の「80」のポート番号を使用できないことがあります。その際は、グローバルIPアドレスでアクセスできる別のポート番号をプロバイダまたはネットワーク管理者から入手してください。なお、その際にはルータのバーチャルサーバ機能を設定する必要もあります。

・同じネットワークに接続されている他のネットワーク機器で使用しているポート番号は使用しないでください。

・本商品自体が使用しているものを除いて、すでに使用されていて設定できない可能性の高いポート番号は次のとおりです。
20、21、23、25、42、67、68、69、105、110、123、161、162、546、547、5002

3 入力が終了したら［保存］をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。

● IPアドレスとポート番号の設定例

本商品を3台接続している場合のIPアドレスとポート番号の設定は、次のようになります。

〈固定 IP アドレスの場合の例〉

ルータを経由した固定グローバルIPアドレスのネットワーク環境でインターネット側から本商品にアクセスするときは、「http:// ルータのグローバル IP アドレス:ポート番号 /」を Web ブラウザのアドレス入力欄に入力します。

項　目	IP アドレス	ポート	パソコンからアクセスするとき
ルータ（WAN 側）	12.34.56.78		
ルータ（LAN 側）	192.168.1.1		
パソコン（LAN 内）	192.168.1.10		
1 台目の本商品	192.168.1.201	81	・インターネット側から http://12.34.56.78:81/
2 台目の本商品	192.168.1.202	82	・インターネット側から http://12.34.56.78:82/
3 台目の本商品	192.168.1.203	83	・インターネット側から http://12.34.56.78:83/

〈DDNS を利用した場合の例〉

ルータを経由したグローバルIPアドレスが固定されないネットワーク環境でインターネット側から本商品にアクセスするときは、「http://DDNS で登録した URL:ポート番号 /」を Web ブラウザのアドレス入力欄に入力します。（例：netcamera.server.cc を登録した場合）

項　目	IP アドレス	ポート	パソコンからアクセスするとき
ルータ（WAN 側）	ランダム		
ルータ（LAN 側）	192.168.1.1		
パソコン（LAN 内）	192.168.1.10		
1 台目の本商品	192.168.1.201	81	・インターネット側から http://netcamera.server.cc:81/
2 台目の本商品	192.168.1.202	82	・インターネット側から http://netcamera.server.cc:82/
3 台目の本商品	192.168.1.203	83	・インターネット側から http://netcamera.server.cc:83/

※ ルータにバーチャルサーバ（ポート開放）の設定が必要となります。添付されている「取扱説明書」の「インターネット経由で画像を見るには」をご覧になり、ルータの設定を行ってください。
※ ルータの設定については、ルータの取扱説明書をご覧ください。

UPnP の設定をする

「UPnP（ユニバーサルプラグ＆プレイ）」機能を使用することにより、ネットワーク間の周辺機器どうしで簡単に相互認識させることができます。本商品では、ルータ経由でインターネットに公開する場合に、ルータの TCP ポートの開放を行うことができます。「UPnP」機能を使用する場合、お使いのルータの「UPnP」機能も有効にする必要があります。ルータの「UPnP」機能の設定方法は、ルータの取扱説明書をご覧ください。

1 「設定画面を開く」(P.36) の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「システム設定」画面で次のように設定します。

UPnP	☑有効
	保存　キャンセル

「UPnP」機能を使用する場合、「有効」をクリックします。



注 意

「UPnP」機能を使用する場合、本商品の「システム設定」の「セカンドポート」を有効にし、セカンドポートの番号を設定する必要があります。

3 ［保存］をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。

5 「ステータス」画面で「ポート番号」を確認し、「ルータポートを開く－成功」を表示されていることを確認します。

ポート番号	2450
	ルータポートを開く－成功

表示される画像の設定をする〈ビデオ設定〉

画像の設定を行います。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「ビデオ設定」画面で次のように設定します。

ビデオ設定
解像度 ○160×120 ○320×240 ◉640×480
圧縮率 ○非常に低い ○低い ◉中 ○高い ○非常に高い
フレーム転送速度 ○1 ○5 ○7 ○15 ○20 ◉Auto（フレーム/秒）
明るさ -10 -1 64 +1 +10
コントラスト -10 -1 64 +1 +10
色彩 -10 -1 64 +1 +10
注：明るさ/コントラスト/色彩の有効範囲は1～128です。
電源周波数 ◉50 Hz ○60 Hz
Mirror □Horizontal Mirror □Vertical Mirror
アンチフリッカ □
保存 キャンセル

次の表を参考に、設定します。

項　目	説　明
解像度	画像のサイズ（解像度（単位はドット数で、横×縦です））を設定します。160×120、320×240、640×480から選択します。工場出荷時は、320×240に設定されています。
圧縮率	画像データの圧縮率を5段階に設定できます。「非常に低い」を選ぶと画像の品質は上がりますが、ネットワークへの負荷が増えます。工場出荷時は「中」に設定されています。
フレーム転送速度	本商品から送信される画像の毎秒あたりの送信フレーム数（何回画面を書き換えることができるか）の上限を設定します。数値が大きくなるほど画像が滑らかになり、ネットワークへの負荷が増えます。工場出荷時は「Auto」に設定されています。
明るさ	画像の明るさを設定します。数値を大きくすると明るさが増します。工場出荷時は「64」に設定されています。設定範囲は、1（最少）～128（最大）です。
コントラスト	画像のコントラストの調整をします。数値を大きくすると最も明るい部分と暗い部分の差が大きくなります。工場出荷時は「64」に設定されています。設定範囲は、1（最少）～128（最大）です。
色彩	画像の色具合を設定します。数値を大きくすると青色が強くなり、小さくすると赤色が強くなります。工場出荷時は「64」に設定されています。設定範囲は、1（最少）～128（最大）です。
電源周波数	本商品を利用する地域の電源周波数（50Hz（東日本）、60Hz（西日本））を設定します。
Mirror	画面を左右または上下逆に映すことができます。 Horizontal Mirror…上下逆に映します。 Vertical Mirror…左右逆に映します。
アンチフリッカ	画像にフリッカノイズが発生した場合に選択すると、フリッカノイズが軽減されます（次ページにフリッカノイズの画像例があります）。アンチフリッカ機能は被写体が室内にあり、蛍光灯に照らされている場合のみ有効となります。工場出荷時は「OFF」（選択なし）に設定されています。



- 実際に送信および表示される画像は、パソコンの性能やネットワーク環境などに左右されます。ネットワークに比較的大きな負荷がかかっているような環境では、他のユーザとの間に通信障害が予想されますので、小さな値に設定するようにして調整してください。
- フリッカノイズとは、次の画像のように、画像に格子状の模様が発生する現象です。

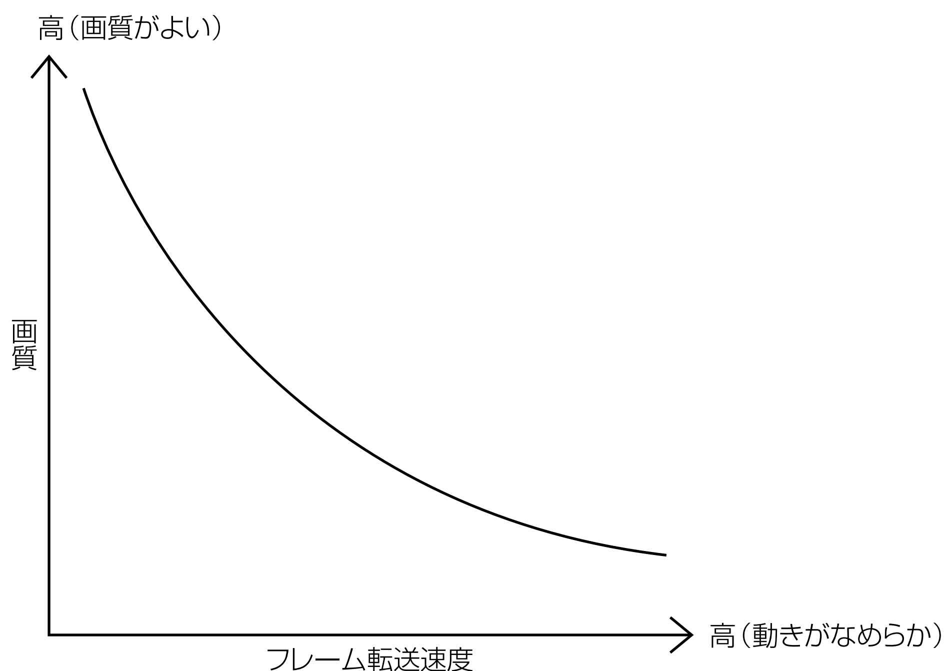


- アンチフリッカ機能は、被写体が屋外にある場合には使用しないでください。

メモ

フレーム転送速度を上げると、動きは滑らかになりますが画質が荒くなります。フレーム転送速度を下げると、画質はよくなりますが動きが遅くなります。

フレーム転送速度	（最低）	（低）	（中）	（高）	（最高）
画質	（最高）	（高）	（中）	（低）	（最低）
圧縮率	（最低）	（低）	（中）	（高）	（最高）



3 ［保存］をクリックします。

カメラに接続できるユーザを制限する〈ユーザ管理〉

画像を見ることができる一般ユーザを登録します。本商品の設定を変更できるのは所有者だけです。一般ユーザはカメラへのアクセス（画像の閲覧）、FTPへのアップロード、電子メールの送信以外の操作をすることはできません。

■本商品に接続できるユーザを登録する

ユーザの登録に関する設定を行います。登録できる人数は最大64人です。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「ユーザ管理」画面で次のように設定します。

ユーザ管理
ユーザ管理 ◎有効にする ○無効にする 実行
ユーザ追加 ユーザ名 : corega-user 追加
パスワード : ●●●●●●●●
制限 : ◎ビデオへのアクセスのみ ○ビデオへのフルアクセス/FTPアップロード/E-mail送信

❶「有効にする」をクリックします。

❷次の表を参考に、設定します。

項　目	入力例	説　明
ユーザ名	camera-user	登録するユーザ名を入力します。入力できる文字数は4～12文字、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。なお、最初に起動したときには、ユーザ名は設定されていません。
パスワード	Password	追加するユーザのパスワードを入力します。パスワードは画面上では「●」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。入力できる文字数は4～8文字、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。なお、最初に起動したときには、パスワードは設定されていません。
制限	－	追加するユーザにカメラへのアクセス（画像の閲覧）のみを行えるようにするには「ビデオへのアクセスのみ」、カメラへのアクセス（画像の閲覧）、FTPへのアップロード、電子メールへの送信を行えなえるようにするには「ビデオへのアクセス/FTPアップロード/E-mail送信可能」を設定します。



- 第三者からの不正アクセスを防止するためにも、ユーザ名、パスワードは定期的に変更してください。
- ユーザ管理を有効にし、ユーザ追加を行わない場合は、所有者以外は本商品にアクセスすることはできません。ただし、所有者のログイン名とパスワードも設定されていない場合は、ユーザ管理の有効/無効にかかわらずアクセス可能になります。

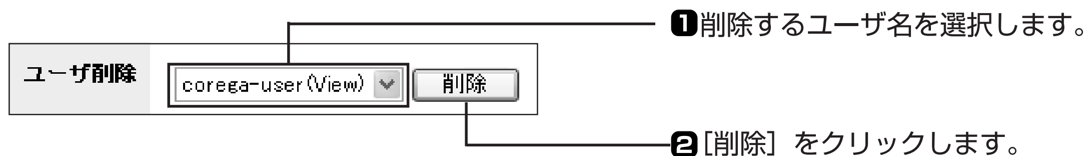
3 ［追加］をクリックすると、リストにユーザが追加されます。

4 ［実行］をクリックします。

■本商品に接続できるユーザを削除する

1 「設定画面を開く」(P.36) の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「ユーザ管理」画面で次のように設定します。



静止画像をメールで送信できるようにする〈E-mail 画像送信〉

撮影した静止画像を電子メールで送れるように設定します。ネットワークが混んでいたり、Webブラウザから画像を見られないような場合に、画像を電子メールで受け取れるようにします。なお、電子メールに添付される画像は静止画です。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「E-mail 画像送信」画面で次のように設定します。

E-mail 画像送信

E-mail設定

メールサーバアドレス : smtp.ips.ne.jp
送信元アドレス（FROM） : fromname@isp.ne.jp
送信先アドレス（TO） : toname@isp.ne.jp,toname2@isp
ユーザ名 : corega
パスワード : ●●●●●●●●●●●●●

❶次の表を参考に、設定します。

項　目	入力例	説　明
メールサーバアドレス	smtp.isp.ne.jp	メールサーバ(SMTPサーバ)のアドレスを入力します。IPアドレスまたは、ドメイン名で入力してください。
送信元アドレス（FROM）	fromname@isp.ne.jp	画像を添付した電子メールの送信元の電子メールアドレス（送り主）を設定します。
送信先アドレス（TO）	toname@isp.ne.jp, toname2@isp.ne.jp, toname3@isp.ne.jp	画像を添付した電子メールの送信先の電子メールアドレス（送り先）を設定します。メールアドレスとメールアドレスの間に「,」（カンマ）を入力することで最大３つまでメールアドレスを設定できます。
ユーザ名	corega	メールサーバへアクセスするためのユーザ名を入力します。
パスワード	passwordsmtp	メールサーバへアクセスするためのパスワードを入力します。

自動送信

☑画像を自動で送信する
○常時
⦿スケジュール
曜日 : ☑月 □火 □水 □木 □金 □土 □日
撮影時間 : 開始時刻: 00:00:00 (時間:分:秒)
終了時刻: 23:59:59 (時間:分:秒)
送信間隔 : 300 秒/フレーム

手動送信

□画像を手動で送信する
送信間隔 : 300 秒/フレーム

❷次の表を参考に、設定します。

項　目	入力例	説　明
画像を自動で送信する	−	画像を自動でスケジュールに基づいて送信する場合に設定します。
常時	−	画像を自動で常時送信する場合に設定します。
スケジュール	−	画像を送信するスケジュールを設定します。
曜日	−	送信する曜日を設定します。
開始時刻	00:00:00	撮影開始時刻を時分秒の単位で設定します。
終了時刻	23:59:59	撮影終了時刻を時分秒の単位で設定します。
送信間隔	300	1 フレームを何秒間隔で撮影して送るかを設定します。
画像を手動で送信する	−	撮影した画像を添付した電子メールを手動で送信する設定を行います。画像を電子メールで送信する場合、「Video」画面から送信を実行（[ON]）できます。
送信間隔	300	1 フレームを何秒間隔で撮影して送るかを設定します。

3 入力が終了したら [保存] をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。



- 本機能を利用する際は、「システム設定」で必ずDNSサーバとゲートウェイを設定してください。
- SMTPサーバによっては、電子メールへの添付ファイルの容量に制限がある場合があります。事前にプロバイダまたはネットワーク管理者に相談してください。
- 本機能は、SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）を使用しているメールサーバでのみ正常に動作します。POP before SMTP では使用できません。
- 「E-mail 画像送信」の設定を行うと本商品への接続完了時に、ここで設定した送信先アドレスに接続完了を通知する電子メールが送信されるようになります。

メモ

- 撮影した画像は、JEPG 形式（.jpg）で電子メールに添付、送信されます。
- 次の内容の電子メールが送信されます。

  件名：Picture from（デバイス名）yyyy/mm/dd,hh:mm:ss（yyyymmdd：年月日、hhmmss：時分秒）

  本文：Camera Name（デバイス名）、Location（説明）、IP Address（IP アドレス）、Time（本商品の撮影時刻）、Event（撮影方法）

  添付ファイル名： yyyy mm dd-hh mm ss-1.jpg
  （yyyy：年　mm：月　dd：日　hh：時　mm：分　ss：秒）

- 添付される画像の大きさは、「160 × 120」、「320 × 240」、「640 × 480」の3種類です。「表示される画像の設定をする〈ビデオ設定〉」（P.54）の「解像度」で設定した大きさの画像が電子メールに添付されます。
- 「画像を手動で送信する」を選択すると、「Video」画面から「E-mail送信」の実行（[ON] / [OFF]）ができます（P.34）。

URLをメールで送信できるようにする〈E-mail URL送信〉

お使いのルータのWAN側IPアドレスが変更になった場合、設定した電子メールへ新たなIPアドレス（URL）を送信し、本商品を再起動するための設定です。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「E-mail URL送信」画面で次のように設定します。

E-mail URL送信
E-mail設定
メールサーバアドレス : smtp.isp.ne.jp
送信元アドレス（FROM） : fromname@isp.ne.jp
送信先アドレス（TO） : toname@isp.ne.jp,toname2@isp
ユーザ名 : corega
パスワード : ●●●●●●●●●●●●●
☑ WAN側アドレス変更時に自動送信する。
保存　キャンセル

❶次の表を参考に、設定します。

❷「WAN側アドレス変更時に自動送信する」をクリックします。

項　目	入力例	説　明
メールサーバーアドレス	smtp.isp.ne.jp	メールサーバ(SMTPサーバ)のアドレスを入力します。IPアドレスまたは、ドメイン名で入力してください。
送信元アドレス（FROM）	fromname@isp.ne.jp	画像を添付した電子メールの送信元の電子メールアドレス（送り主）を設定します。
送信先アドレス（TO）	toname@isp.ne.jp toname2@isp.ne.jp, toname3@isp.ne.jp	変更されたルータのWAN側IPアドレスが記載された電子メールを送信する送信先のメールアドレスを設定します。 ※メールアドレスとメールアドレスの間に「,」（カンマ）を入力することによって、最大３つまで送信先を設定することができます。
ユーザ名	corega	メールサーバへアクセスするためのユーザ名を入力します。
パスワード	passwordsmtp	メールサーバへアクセスするためのパスワードを入力します。

3 ［保存］をクリックします。

4 本商品が自動的に再起動します。


注意

・本機能を利用する際は、「システム設定」で「UPnP」機能を有効にし、ルータとの間でUPnP機能が正常に機能している必要があります。
・本機能は、SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）を使用しているメールサーバでのみ正常に動作します。POP before SMTPでは使用できません。
・「E-mail URL送信」の設定を行うと、本商品への接続完了時に、ここで設定した送信先アドレスへ接続完了を通知する電子メールが送信されます。

画像を FTP にアップロードする（FTP サーバの設定）〈アップロード〉

撮影した画像を FTP（File Transfer Protcol）サーバに登録できるように設定します。ネットワークが混んでいたり、Web ブラウザから画像を見られないような場合に、画像を FTP サーバに貯めておくことができます。インターネット側から本商品へ直接アクセスさせたくない場合は、FTP でのファイルの登録先を、公開用のホームページを置いてある場所にして画像を表示する設定にしておけば、本商品の画像を公開用のホームページから見ることもできます。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「アップロード」画面で次のように設定します。

アップロード

FTPサーバ
サーバアドレス : ftp.isp.ne.jp
ポート番号 : 21 （初期値：21）
ユーザ名 : corega
パスワード : ●●●●●●●●●●●●
ディレクトリ : /user/corega/ftp
パッシブモード : ○ON ◎OFF

❶次の表を参考に、設定します。

項　目	入力例	説　明
サーバアドレス	ftp.isp.ne.jp	FTP サーバのアドレスを設定します。
ポート番号	21	FTP のポート番号を設定します。工場出荷時には「21」が設定されています。
ユーザ名	corega	FTP のユーザ名を設定します。
パスワード	passwordftp	FTP のパスワードを設定します。
ディレクトリ	/user/corega/ftp	FTPサーバに画像を登録するフォルダ（ディレクトリ）を設定します。空欄にした場合はFTPサーバに登録されているホームディレクトリに追加されます。
パッシブモード	―	FTPの転送方式を設定します。FTPサーバの設定に合わせて選択してください。工場出荷時はパッシブモードが「OFF」に設定されています。

自動アップロード
☑ FTPサーバに自動でアップロードする
◎常時
○スケジュール
曜日 : □月 □火 □水 □木 □金 □土 □日
撮影時間 : 開始時刻: 0:0:0 (時間:分:秒)
終了時刻: 0:0:0 (時間:分:秒)
撮影頻度: ◎ 1 フレーム/秒
○ 1 秒/フレーム
基本ファイル名 : camera
アップロード : ○上書き
◎基本ファイル名＋日付/時間
○基本ファイル名＋番号: 1024 番まで

手動アップロード
☑ FTPサーバに手動でアップロードする
基本ファイル名 : camera
アップロード : ○上書き
◎基本ファイル名＋日付/時間
○基本ファイル名＋番号: 1024 番まで

保存　キャンセル

❷次の表を参考に、設定します。

項　目	入力例	説　明
FTP サーバに自動でアップロードする	–	画像を自動でFTPに登録するかを設定します。
常時	–	画像を自動でFTPに常時登録する場合に設定します。
スケジュール	–	画像を自動でスケジュールに基づいて登録する場合に設定します。
曜日	–	登録する曜日を設定します。
開始時刻	00:00:00	登録開始時刻を時分秒の単位で設定します。
終了時刻	23:59:59	登録終了時刻を時分秒の単位で設定します。
撮影頻度	–	1フレームを何秒間隔で撮影して送るか、または1秒で何フレーム送るかを選択します。
基本ファイル名	Camera	画像ファイルのファイル名を入力します。
アップロード	–	FTP に登録する際のファイル名を設定します。基本ファイル名を「Camera」とすると、次のとおりです。
上書き	–	基本ファイル名で上書きされます。拡張子は .jpg です。 例：Camera.jpg
基本ファイル名＋日付 / 時間	–	基本ファイル名に年月日時分秒を加えたファイル名となります。拡張子は .jpgです。 例：Camera20040209200015.jpg
基本ファイル名＋番号	–	基本ファイル名に連番を加えたファイル名となります。拡張子は .jpg です。 例：Camera10.jpg
FTP サーバに手動でアップロードする	–	画像を手動で登録する設定を行います。「Video」画面から登録を実行できます。
基本ファイル名	Camera	画像ファイルのファイル名を入力します。
アップロード	–	FTP に登録する際のファイル名を設定します。基本ファイル名を「Camera」とすると、次のとおりです。
上書き	–	基本ファイル名で上書きされます。拡張子は .jpg です。 例：Camera.jpg
基本ファイル名＋日付 / 時間	–	基本ファイル名に年月日時分秒を加えたファイル名となります。拡張子は .jpgです。 例：Camera20040209200015.jpg
基本ファイル名＋番号	–	基本ファイル名に連番を加えたファイル名となります。拡張子は .jpg です。 例：Camera10.jpg

メモ

- 撮影した画像は、JEPG 形式（.jpg で保存されたファイル）で FTP サーバにアップロードされます。
- 登録される画像の大きさは、「160 × 120」、「320 × 240」、「640 × 480」の 3 種類です。「表示される画像の設定をする〈ビデオ設定〉」（P.54）の「解像度」で設定した大きさの画像が FTP に登録されます。
- 「FTP サーバに自動でアップロードする」または「FTP サーバに手動でアップロードする」を選択すると、「Video」画面から「FTP アップロード」の実行（[ON] / [OFF]）ができます（P.34）。

3 [保存] をクリックします。

カメラの情報を見る〈ステータス〉

本商品に関する情報（本商品のモデル名、ファームウェアバージョン、MACアドレス、IPアドレス）が確認できます。

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「ステータス」画面では次のように表示されます。

ステータス	
モデル名	CG-NCPT
デバイス名	Living-camera
ファームウェアバージョン	ver1.00
MACアドレス	XX XX XX XX XX XX
IPアドレス	192.168.1.245

- モデル名：本商品の製品名です。
- デバイス名：本商品のデバイス名です。「システム設定」で設定したデバイス名が表示されます。
- ファームウェアバージョン：本商品のファームウェアのバージョン番号です。
- MACアドレス：本商品のMACアドレスです。MACアドレスはネットワーク上で本商品固有に与えられている番号です。
- IPアドレス：本商品の IP アドレスです。



MAC アドレスについて→「MAC アドレスについて」（P.84）

カメラを再起動する〈ツール〉

本商品を再起動します。設定を変更した場合には、再起動して設定内容を反映させてください。「工場出荷時の状態に戻す」や「ファームウェアのアップグレード」とは異なりますのでご注意ください。
再起動には、次の２つの方法があります。２つの方法に違いはありません。どの方法を使ってもかまいません。

■設定画面を使う

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「ツール」画面で次のように設定します。

ツール

再起動	本製品を再起動しますか? [実行] 注: 再起動を実行すると、本製品への全てのアクセスが切断されます。
初期化	本製品を初期化しますか? [実行] 注: 初期化を実行すると、全ての設定が工場出荷時の状態に戻ります。

「再起動」の［実行］をクリックします。

Power LEDが点滅し、Link/Act LEDが点灯します。しばらくしてPower LEDが点灯し、Link/Act LEDが点滅すれば、再起動の完了です。



・再起動後も、設定した内容は保持されます。
・再起動すると、カメラ内に一時保存されていた画像はすべて消去されます。

■電源を入れ直す

1 本商品の専用ACアダプタを電源コンセントなどから抜きます。

Power LEDとLink/Act LEDが消灯します。

2 しばらくしてから専用ACアダプタを電源コンセントなどに接続します。

Power LEDが点灯し、Link/Act LEDが点滅すれば、再起動の完了です。



電源を切るときは、本商品背面のDCコネクタの方から電源コードを抜かないでください。故障の原因となる場合があります。

カメラの設定を工場出荷時の状態に戻す〈ツール〉

本商品を工場出荷時の状態に戻すと今まで設定していた情報がすべて消えてしまい、購入したときの設定に戻ります。ユーザ名やパスワードを忘れて、本商品にアクセスできなくなったときや、ご購入時の設定に戻して、はじめから設定したいときなどにご使用ください。なお、重要な設定をしている場合は、その設定内容を事前に書き残すなど、後ですぐに設定し直せるように準備しておいてください。「再起動」や「ファームウェアの更新」とは異なりますのでご注意ください。
工場出荷時の状態に戻すには、次の２つの方法があります。２つの方法に違いはありません。どちらを使ってもかまいません。

■ Init スイッチを押す

1 本商品の電源が入っている状態で、ボールペンなど堅くて先の細いものを使用し、背面にあるInitスイッチを３秒以上押します。

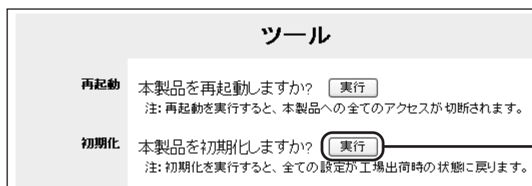
2 Init スイッチを離します。

Power LED が点滅し、Link/Act LED が消灯します。しばらくしてPower LED が点灯し、Link/Act LED が点滅すれば、工場出荷時の状態に戻ります。

■設定画面を使う

1 「設定画面を開く」（P.36）の手順で本商品の設定画面を表示します。

2 「ツール」画面で次のように設定します。



「初期化」の［実行］をクリックします。

Power LED が点滅し、Link/Act LED が消灯します。しばらくしてPower LED が点灯し、Link/Act LED が点滅すれば、工場出荷時の状態に戻ります。


注 意

- 設定が工場出荷時の状態に戻るまでに、約 20 秒間かかります。
- 工場出荷時の状態にすると、IP アドレスは「192.168.1.245」、サブネットマスクは「255.255.255.0」に戻ります。
- 工場出荷時の状態にすると、カメラ内に一時保存されていた画像はすべて消去されます。

PART 4　トラブルや疑問があったら

解決のステップ

カメラを使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、この章で解決方法を探してください。

①取扱説明書や契約書を確認する。プロバイダやネットワーク管理者に確認する

特にネットワークの接続が複雑な場合、ルータなどの設定も十分見直してください



②この章の Q&A を確認する

〈トラブルは？〉

- 「NC View A」でカメラが検索されない
- 「NC View A」でカメラの登録ができない
- 「NC View A」でカメラの画像が表示されない
- Web ブラウザでカメラの画像が表示されない
- 画像に白い線が表示される
- 画像にノイズが入る
- 画像が不鮮明
- 画像の更新が遅い
- Web ブラウザでカメラの設定画面が表示されない
- カメラと無線で通信できない
- カメラの Power LED が点灯しない
- カメラの Link/Act LED が点灯しない
- 「NC View A」で録画ができない
- 録画したファイルが見当たらない
- 録画ファイルが再生できない
- カメラの IP アドレスを忘れてしまった
- 画像をメールで送信できない
- 画像を FTP サーバにアップロードできない
- UPnP でルータのポートが開かない
- 日付と時刻を合わせたい
- ログイン名、パスワードを忘れてしまった
- ファームウェアの更新に失敗した

〈疑問は？〉

- カメラの設定を工場出荷時の状態に戻したい
- 接続できているか確認したい（ping コマンドを使う）
- ファームウェアを更新したい
- カメラの角度を登録したい〈プリセット〉
- パソコンの IP アドレスを設定したい



③コレガのホームページの情報を活用する

インターネットに接続できる環境であれば、コレガのホームページは、「Top/Information」画面からアクセスできます。「ユーザー登録」、「Q and A」、「製品情報」をご覧になれます。



④それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる

サポート窓口の連絡先については添付の「取扱説明書」をご覧ください。

Q&A

■「NCView A」でカメラが検索されない

● パソコンの設定はしていますか？

パソコンの設定を「IP アドレス固定」にする必要があります。IP アドレスの固定方法はこの PART の「パソコンの IP アドレスを設定したい」（P.81）をご覧ください。

● カメラの電源は入っていますか？　ルータ、ハブなどとの接続は正しくできていますか？

各ケーブルとの接続状態を確認してみてください。

● インターネット経由でカメラを検索しようとしていませんか？

「NC View A」で自動検索できるのは、LAN 内のカメラのみです。インターネット経由でカメラに接続する場合は、カメラの IP アドレスを直接入力するか、ドメイン名を入力してください。

■「NCView A」でカメラの登録ができない

● LAN 内のカメラを登録する場合

カメラのIPアドレスと設定用のパソコンのIPアドレスが同一ネットワーク上にない場合は、カメラを登録できません。
パソコンとカメラの IP アドレスを再確認してください。カメラの IP アドレスを変更する場合は、「NC View A」の［カメラ登録変更］で変更してください。



カメラの IP アドレスを変更する→「カメラの IP アドレスを変更する」（P.10）

● インターネット上のカメラを登録する場合

インターネット接続にプロキシサーバを使用している場合は、「NCView A」にプロキシサーバの設定が必要です。メインウィンドウの［オプション］でプロキシサーバの設定を行ってください。



「NCView A」でプロキシサーバの設定をする→「プロキシサーバの設定をする〈オプション〉」（P.26）

パソコンまたはネットワークにファイアウォール機能が設定されている場合は、ファイアウォール機能の設定変更が必要です。本商品の画像（動画）データの送信には、ポート「80」を使用します。「80」が使用できるようファイアウォールの設定を変更してください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

■「NCView A」でカメラの画像が表示されない

●「Off-Line」になっていませんか？

「Off-Line」と表示されているカメラは、画像が表示されません。［接続 / 切断］をクリックして、カメラに接続してください。

● カメラを登録しましたか？

「NCView A」で画像を見るには、あらかじめ、「NCView A」にカメラの登録を行っておく必要があります。



カメラを登録する→「カメラを登録する」（P.8）

● IP アドレスの設定が間違っていませんか？

LAN 内のカメラに接続する場合は、カメラの IP アドレスとパソコンの IP アドレスが同じネットワーク上にないと、カメラに接続できません。パソコンとカメラの IP アドレスを再確認してください。

● カメラにアクセスするパソコンで、インターネット接続にプロキシサーバを使用していませんか？

インターネットに接続する場合にプロキシサーバを使用しているネットワークでは、インターネット経由でカメラにアクセスするときには「NCView A」にプロキシサーバの設定が必要です。「NC View A」の［オプション］でプロキシサーバの設定を行ってください。



「NCView A」でプロキシサーバの設定をする→「プロキシサーバの設定をする〈オプション〉」(P.26)

●パソコンまたはネットワークにファイアウォール機能が設定されていませんか？

ファイアウォール機能の設定変更が必要です。本商品の画像（動画）データの送信には、ポート「80」を使用します。「80」が使用できるようファイアウォールの設定を変更してください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

● 無線の設定は正しいですか？

カメラを無線 LAN で運用している場合は、ESSID や WEP キー、WPA-PSK の設定が正しくできているか、確認してください。

● ドメイン名を正しく入力しましたか？

URL を指定してカメラにアクセスしている場合は、ダイナミック DNS サイトで登録したドメイン名を入力する必要があります。正しく入力できているか、確認してください。
また、カメラに独自のポート番号が設定されている場合は、ポート番号の入力も必要です。
ドメイン名で接続する場合、DNS サーバの設定も必要になります。ルータまたはカメラに DNS サーバの設定を正しく行っているか、確認してください。

■ Web ブラウザでカメラの画像が表示されない

● カメラに同時に接続しているユーザの数が多すぎませんか？またはネットワークが混んでいませんか？

お使いの設定などにより、画像がすぐに表示されない場合もあります。特にネットワークに比較的大きな負荷がかかっているような環境では、他のユーザとの間にも通信障害が予想されますので、接続するユーザ数を制限したり、画像の品質や更新回数を減らすように調整してください。また、FTP や電子メールで画像を送る方法もあります。



・接続するユーザ数を制限する→「カメラに接続できるユーザを制限する〈ユーザ管理〉」（P.56）
・画像の品質や更新回数を減らす→「表示される画像の設定をする〈ビデオ設定〉」（P.54）
・電子メールで画像を送る→「静止画像をメールで送信できるようにする〈E-mai 画像送信〉」（P.58）
・FTP に画像を送る→「画像を FTP にアップロードする（FTP サーバの設定）〈アップロード〉」（P.61）

● カメラにアクセスするパソコンのWebブラウザの設定が、プロキシを経由していませんか？

Webブラウザの設定がプロキシを経由している場合は、次のように設定してください。なお、パソコンのWebブラウザの設定については、パソコンに添付されている取扱説明書かWebブラウザのヘルプなどをご覧ください。ここでは、Internet Explorer 6.0を例に設定します。

1 **Webブラウザを起動して「メニュー」－「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。**

2 **「接続」タブをクリックし、「ダイヤル設定」の「ダイヤルしない」を選択します。**

3 **「LANの設定」をクリックします。**
ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定画面が表示されます。

4 **「詳細」をクリックします。**
プロキシ設定画面が表示されます。

5 **「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」の入力欄にカメラのIPアドレスを入力します。**

6 **入力が終わったら［OK］をクリックします。**

● モデム⇔インターネット側への回線は正しく接続されていますか？

モデム（xDSLモデム、ケーブルモデム）やメディアコンバータとケーブル（電話回線用モジュラケーブル、同軸ケーブル、光ケーブル）が外れていないかを確認してください。接続については、モデムやメディアコンバータに添付の取扱説明書をお読みください。

● プロバイダやネットワーク管理者からの設定事項を正しく入力しましたか？

契約時の設定事項をカメラ、ルータ、パソコンに正しく入力したか確認してください。プロバイダやネットワーク管理者からの設定事項をすべて設定画面に正しく入力しないと接続できません。パスワードは入力を間違っても画面上で確かめることができませんので、再度入力をやりなおしてみてください。大文字/小文字が区別される場合もありますので注意してください。

● カメラ、ルータ、パソコンの設定は正しいですか？

ご利用になるネットワーク環境や構成によって、カメラ、ルータ、パソコンの設定は異なります。また、ルータなどのカメラ以外の機器については、各接続機器の取扱説明書をご覧になるか、設定内容の詳細をネットワーク管理者などに相談してください。



・カメラのネットワーク設定は正しいか？→「ネットワークの設定をする〈システム設定〉」（P.41）
・無線の設定は正しいか？→「無線の設定をする（CG-WLNCPTGのみ）」（P.46）
・インターネットから接続するための設定は正しいか？→「URLを指定して画像を見る（ダイナミックDNSの設定）」（P.48）、「ポートの設定をする〈システム設定〉」（P.51）

●パソコンまたはネットワークにファイアウォール機能が設定されていませんか？

ファイアウォール機能の設定変更が必要です。本商品の画像（動画）データの送信には、ポート「80」を使用します。「80」が使用できるようファイアウォールの設定を変更してください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

■画像に白い線が表示される

● 設置場所の光源とカメラとの距離が近すぎませんか？

設置場所に必要以上に明るい光源（日光やハロゲン光）がある場合は、内蔵カメラのセンサが反応しなくなってしまい、その結果、静止画に白い縦縞となって現れる場合があります。位置や方向を変えるか、光源の位置を調整してください。そのままの環境で使い続けると、内蔵カメラのセンサが故障する場合があります。なお、必要以上に明るい光源を直接受けたことでカメラが故障した場合は保証の対象外となりますのでご注意ください。



設置条件について→「取扱説明書」「撮影したい場所に本商品を設置する」をご覧ください。

■画像にノイズが入る

● 被写体の環境が暗くないですか？

被写対象や設置場所を明るくしてください。設置場所については、「取扱説明書」「撮影したい場所に本商品を設置する」をご覧ください。

● 設置場所の蛍光灯とカメラとの距離が近すぎませんか？

電源周波数（50Hz（東日本）または60Hz（西日本））によっては、蛍光灯などの照明の影響によりフリッカー（照明のちらつき）が発生し、画面にノイズが入ったようになることがあります。蛍光灯とカメラとの距離をできるだけ離すようにしてください。また、使用する地域によって、電源周波数の設定を変更してください。



電源周波数の変更について→「表示される画像の設定をする〈ビデオ設定〉」（P.54）

● 無線LANに障害はないでしょうか？

無線LANに障害がある場合も、画像にノイズが入る場合があります。干渉していると思われる他の機器を外してみてください。

■画像が不鮮明

● 画像の焦点が合わない

対象とのピント調整が合っていない可能性があります。カメラはオートフォーカス機能を持っていませんので、画像を見ながら手動でレンズを回転させ、対象とピントを合わせてください。時計回りに回すと遠い被写体に、反時計回りに回すと近くの被写体にピントが合わせられます。

● レンズやレンズカバーにゴミ、汚れ、指紋、曇りなどが付着していませんか？

レンズクリーニングペーパなどでゴミなどを取り除いたあと、拭き取ってください。

● 被写体までの距離が近すぎませんか？

近距離（20cm未満）では焦点が合いません。被写体から20cm以上離して使用してください。

●暗い場所や何もない場所（壁など）を撮影していませんか？

フォーカスが合わない場合があります。手動で合わせてください。設置条件については、「取扱説明書」「撮影したい場所に本商品を設置する」をご覧ください。

●画像のコントラストや色彩の設定を見なおしてみてください

カメラの画像のコントラストや色彩の設定については、「表示される画像の設定をする〈ビデオ設定〉」（P.54）をご覧ください。

●パソコンのモニタの色設定が「Hight Color（16ビット）」未満になっていませんか？

パソコンのモニタの色設定を「Hight Color（16ビット）」以上（「True Color（32ビット）」など）に設定してください。設定については、パソコンやモニタに添付の取扱説明書をご覧ください。

パソコンのビデオカードやモニタによっては、多少表示される色合いが異なる場合があります。ビデオカードやモニタのカラー調整で解決できる場合もあります。設定については、パソコン、ビデオカードまたはモニタに添付の取扱説明書をご覧ください。

■画像の更新が遅い

●カメラの画像に同時に接続しているユーザの数が多すぎませんか？またはネットワークが混んでいませんか？

フレーム転送速度の設定などにより、画像がすぐに表示されない場合もあります。特にネットワークに比較的大きな負荷がかかっているような環境では、他のユーザとの間にも通信障害が予想されますので、接続するユーザ数を制限したり、画像の品質や更新回数を減らすように調整してください。また、FTPや電子メールで画像を送る方法もあります。



- 接続するユーザ数を制限する→「カメラに接続できるユーザを制限する〈ユーザ管理〉」（P.56）
- 画像の品質や更新回数を減らす→「表示される画像の設定をする〈ビデオ設定〉」（P.54）
- 電子メールで画像を送る→「静止画像をメールで送信できるようにする〈E-mail画像送信〉」（P.58）
- FTPに画像を送る→「画像をFTPにアップロードする（FTPサーバの設定）〈アップロード〉」（P.61）

●複数のカメラに同時に接続していませんか？

1台のパソコンから複数設置してあるカメラの画像を見る場合は、画像の更新が遅くなることがあります。接続するユーザ数や画像の品質などの設定を見直してみてください。それでも更新速度の低下が気になる場合は、ネットワーク構成の見直しや高速化をご検討ください。詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。

● パソコンのスペックやネットワークの通信速度は十分ですか？

オペレーティングシステムやWebブラウザが古かったり、メモリやハードディスクの容量が十分搭載されていなかったり、ネットワークの通信速度が十分でなかったりする場合は、画像がスローモーションに見えたり、フレーム落ちが発生したりする場合があります。これらは故障ではありません。



対応パソコンの条件について→「取扱説明書」

● 通信状態が良くない場所に設置していませんか？

無線LANで使用している場合、設置場所によっては通信の状態が良くならない場合があります。設置場所を変更するか、LANケーブルなどの有線に切り替えるか、画像の品質や更新回数を減らすように調整してください。



・設置場所の変更について→「取扱説明書」「撮影したい場所に本商品を設置する」
・画像の品質や更新回数を減らす→「表示される画像の設定をする〈ビデオ設定〉」（P.54）

■ Web ブラウザでカメラの設定画面が表示されない

● 電源は入っていますか？

各接続機器の電源ランプがついているか、またはACアダプタなどが電源コンセントから外れていないか確認してください。

● ケーブル（モデム⇔ルータ⇔パソコン、カメラ）は正しく接続されていますか？

ルータとカメラがLANケーブルで正しく接続されているか確認してください。カメラとルータが正常に接続されている場合は、カメラに電源が入っているとルータの前面にある各 LAN ポートの Link/Act LED が点灯します。また、LAN ポートに正しくケーブルが接続されているかも再度確認しましょう。

● パソコンのネットワークアダプタは正しく動作していますか？

パソコンのネットワークアダプタのドライバの設定は正しいか確認してください。また、パソコンのネットワークアダプタが正常に動作していることを再度確認してください。ネットワークアダプタの設定については、パソコンや LAN カードに添付の取扱説明書をご覧ください。

● カメラの IP アドレスを変更していませんか？

Web ブラウザのアドレス入力欄に新しい IP アドレスを入力してください。

● カメラにアクセスするパソコンの Web ブラウザの設定が、プロキシを経由していませんか？

Webブラウザの設定がプロキシを経由している場合は次のように設定してください。なお、パソコンのWebブラウザの設定については、パソコンに添付されている取扱説明書やWebブラウザのヘルプなどをご覧ください。ここでは、Internet Explorer 6.0 を例に説明します。

1 Web ブラウザを起動して「メニュー」－「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。

2 「接続」タブをクリックし、「ダイヤル設定」の「ダイヤルしない」を選択します。

3 「LAN の設定」をクリックします。
ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定画面が表示されます。

4 「詳細」をクリックします。
プロキシ設定画面が表示されます。

5 「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」の入力欄にカメラの IP アドレスを入力します。

6 入力が終わったら [OK] をクリックします。

● Web ブラウザのキャッシュ（一時ファイル）を削除してみてください

1 Web ブラウザを起動して「メニュー」－「ツール」の「インターネットオプション」を選択します。

2 「全般」タブをクリックし、「インターネット一時ファイル」の [ファイルの削除] をクリックします。

3 [OK] をクリックします。

● 複数の人が所有者として接続しようとしていませんか？

1 台のカメラに所有者として接続できる人数は 1 人に限られます。

■カメラと無線で通信できない

●無線 LAN の設定は正しくできていますか？

ESSID、WEP キー、WPA-PSK、無線チャンネルは無線に接続するすべての機器で共通である必要があります。お使いのパソコンや無線LANアクセスポイントの設定がカメラと同じになっているか確認してください。



ESSID、WEP キー、WPA-PSK、無線チャンネルについて→「無線の設定をする（CG-WLNCPTG のみ）〈システム設定〉」（P.46）

●設置場所に問題はないですか？

設置場所を変更したり、障害物を除いたりしてみてください。それでも通信できない場合は、LAN ケーブルを使って有線で接続してください。



設置場所について→「取扱説明書」「撮影したい場所に本商品を設置する」

■カメラの Power LED が点灯しない

●カメラと専用 AC アダプタの接続を再度確認してください

専用ACアダプタが電源コンセントから外れていないか、DCアダプタがDC電源コネクタのジャックにしっかり入っているか、または専用 AC アダプタが使われているかも確認してください。

●Power LED の表示を消灯に設定していませんか？

Power LED の表示を変更するには、「LED の設定をする〈システム設定〉」（P.50）をご覧ください。

●上記の見なおしを行っても Power LED が表示されない

Initスイッチを押したり、電源を入れなおしたりして再起動してください。それでも直らない場合は故障していることが考えられます。お手数ですが、弊社サポートセンタまでご連絡ください。



再起動について→「カメラを再起動する〈ツール〉」（P.64）

■カメラの Link/Act LED が点灯しない

●LAN ケーブルがルータ、ハブ、カメラに正しく接続されていますか？

カメラとの接続を再度確認してください。また、LAN ケーブルやハブ/スイッチングハブの問題も考えられますので、ping（packet internet groper）コマンドなどを利用して接続状況を確認したり、ネットワーク管理者にご相談ください。



ping コマンドについて→「接続できているか確認したい（ping コマンドを使う）」（P.79）

● **無線LANの場合、正しく設定されていますか？**

「カメラと無線で通信できない」（P.75）をご覧ください。

● **Link/Act LEDの表示を消灯に設定していませんか？**

Link/Act LEDの表示を変更するには、「LEDの設定をする〈システム設定〉」（P.50）をご覧ください。

● **上記の見なおしを行ってもLink/Act LEDが表示されない**

Initスイッチを押したり、電源を入れなおしたりして再起動してください。それでも直らない場合は故障していることが考えられます。お手数ですが、弊社サポートセンタまでご連絡ください。



再起動について→「カメラを再起動する〈ツール〉」（P.64）

■「NCView A」で録画ができない

● **録画の設定は正しいですか？**

スケジュールの設定、録画ファイルの保存場所の設定などを確認してください。
モーション録画を行っている場合は、動作感知レベルを上げてみてください。

● **録画中に画像スキャンを行っていませんでしたか？**

画像スキャンを行っていると録画ができません。

● **録画中に画像ウィンドウを閉じませんでしたか？**

録画中に画像ウィンドウを閉じると録画ができません。

■録画したファイルが見当たらない

● **録画ファイルの保存容量を超えていませんか？**

「NCView A」の［オプション］－［リサイクル］で設定した録画ファイルの保存容量を超えた場合は、古いものから順に録画ファイルが削除されます。

■録画ファイルが再生できない

● **再生用のアプリケーションはインストールされていますか？**

録画ファイルを再生するには、Windows Media PlayerなどのMPEG4の動画を再生できるアプリケーションが必要です。あらかじめインストールしておいてください。

■カメラのIPアドレスを忘れてしまった

「NCView A」でカメラのIPアドレスを検索してみてください。また、ルータなどから接続機器の状態を表示できる場合、そちらから確認してください。



「NCView A」でのIPアドレスの検索について→「カメラを登録する」(P.8)

■画像をメールで送信できない

● メールサーバを正しく設定していますか？

「NCView A」で送信する場合は、[カメラ設定] － [モーション設定] でメールサーバの設定を確認してください。詳しくは、「カメラが被写体の動きを感知したときの設定をする〈モーション設定〉」(P.27)をご覧ください。
Webブラウザで設定する場合は、「静止画像をメールで送信できるようにする〈E-mail 画像送信〉」(P.58)をご覧ください。

● メールサーバの容量がいっぱいではないですか？

メールサーバに蓄積されている不要な電子メールを削除してください。

● メールの添付ファイルの許容サイズを超えていませんか？

電子メールの添付ファイルの許容サイズについては、プロバイダやネットワーク管理者にご相談ください。添付ファイルのサイズを変更するには、「表示される画像の設定をする〈ビデオ設定〉」(P.54)をご覧ください。

● DNSサーバの設定をしましたか？

カメラからメールを送信するには、DNSサーバとゲートウェイの設定が必要です。DNSサーバとゲートウェイの設定を確認してください。



DNSサーバとゲートウェイの設定をする→「ネットワークの設定をする〈システム設定〉」(P.41)

■画像をFTPサーバにアップロードできない

● FTPサーバを正しく設定していますか？

FTPの通信モードには、「パッシブモード」と「アクティブモード」の2種類があり、FTPサーバとカメラの通信モードの設定が異なっているときなど、アップロードできなかったり、タイムアウトエラーになったりする場合があります。

公開用のホームページでカメラの画像を見れるように設定したが、表示されない場合は、アップロード方法を「上書き」にしていないことが考えられます。ファイル名に日時、時間、番号を付与すると、表示される画像のファイル名を固定することができませんので、同じファイル名に上書きする設定をカメラと公開用のホームページのHTML文に行ってください。



FTPサーバの設定について→「画像をFTPにアップロードする(FTPサーバの設定)〈アップロード〉」(P.61)

● FTPサーバの容量がいっぱいではないですか？

蓄積されている不要なファイルを削除してください。

■ UPnP でルータのポートが開かない

● ルータが UPnP に対応していますか？

本商品を接続しているルータもUPnPに対応している必要があります。詳しくはご使用のルータの説明書をご覧ください。

● ルータの UPnP が有効になっていますか？

ルータのUPnPが有効になっていない場合は、有効にしてください。詳しくはご使用のルータの説明書をご覧ください。

● 本商品のセカンドポートの設定をしましたか？

本商品とルータのUPnPが有効の場合、セカンドポートで設定したポートを開放します。セカンドポートの設定については、「ポートの設定をする＜システム設定＞」（P.51）をご覧ください。その他、セカンドポートが有効になっていることを確認の上、他のポート番号をお試しください。
どうしても成功できない場合は、「お使いの手引き」の「UPnPを使用しないでポートを開放する（バーチャルサーバを使用する）」をお試しください。

■日付と時刻を合わせたい

カメラに接続されているパソコンの日付・時間を正しく設定されていることを確認し、カメラを再起動します。カメラは自動的にNTP（インターネットのタイムサーバ）の時間を読み取ろうとします。
カメラがインターネットにつながれていない場合は、接続されているパソコンの時間を読み取ります。



カメラの再起動方法について→「カメラを再起動する〈ツール〉」（P.64）

■ログイン名、パスワードを忘れてしまった

所有者のログイン名、パスワードを忘れてしまった場合はカメラの設定を変更することができません。いったん設定を工場出荷時の状態に戻してログイン名、パスワードをクリアしてから、再度ログイン名、パスワードを設定してください。ただし、設定を工場出荷時の状態に戻した場合は、今までのすべての設定内容が消えてしまいますので、再度設定しなおしてください。



工場出荷時の状態に戻すには→「カメラの設定を工場出荷時の状態に戻す〈ツール〉」（P.66）

■ファームウェアの更新に失敗した

電源の切断、ネットワーク障害、またその他の理由でファームウェアの更新に失敗し、カメラに接続できない、または設定画面が表示されない場合は、いったん設定を工場出荷時の状態に戻し、接続できるように再設定を行ってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。なお、設定を工場出荷時の状態に戻した場合は、今までのすべての設定内容が消えてしまいますので、ご注意ください。



工場出荷時の状態に戻すには→「カメラの設定を工場出荷時の状態に戻す〈ツール〉」（P.66）

■カメラの設定を工場出荷時の状態に戻したい

「カメラの設定を工場出荷時の状態に戻す〈ツール〉」(P.66)をご覧ください。

■接続できているか確認したい(ping コマンドを使う)

カメラの IP アドレスを確認した後、次の手順にしたがってください。

メモ
カメラの IP アドレスは、次のような方法で確認できます。
・「NCView A」で検索してみる
・接続しているルータなどで機器の接続状態を表示する機能を使う(IPアドレスをDHCPで設定している場合)
・カメラから送信された電子メールで確認する(E-mail 画像送信の設定を有効にしている場合)

1 **「スタート」−「プログラム」(Windows XPの場合は「すべてのプログラム」)−「アクセサリ」−「コマンドプロンプト」をクリックします。**

2 **キーボードから次のように入力して、【Enter】を押します。**

C:¥>ping xxx.xxx.xxx.xxx
└カメラの IP アドレスを入力します。

応答結果によって、次の原因が考えられますので、対処方法にしたがってください。

ping の応答内容	原因と対処方法
Reply from xxx.xxx.xxx.xxx: bytes=32 times=xms TTL=64	IP アドレスがカメラに割り当てられています。
Destination host unreachable	カメラが利用可能なサブネット内にありません。新しいIPアドレスに変更してください。
Request timed out	IPアドレスがカメラに割り当てられていません。または、未使用の IP アドレスが割り当てられています。

■ファームウェアを更新したい

「ファームウェアを更新する〈ファーム更新〉」(P.30)をご覧ください。

■カメラの角度を登録したい〈プリセット〉

カメラの角度を登録して、簡単にカメラ位置を登録した方向に変えることができます。

1 Web ブラウザを起動し、「192.168.1.245」と入力します。

2 「Welcome to the Network Camera」の画面が表示されたら、[Video] をクリックします。

3 下画面が表示されたら「プリセット位置」を０以外（1 ～ 24）を選択します。



プリセット位置の「0 Home」のプリセット保存名は、変更することはできません。

4 「プリセット保存名」を任意で入力します（入力しなくても可）。例:「ソファの上」

5 [登録] をクリックします。

ズーム: x1 x2 x3 x4
ズームされた画像は、FTPアップロードデータ、E-Mail送信データには反映されません。
水平移動量 1
垂直移動量 1
Up
Left Home Right (136,85)
Down
プリセット位置
1
プリセット保存名
ソファの上
登録 削除
移動
スキャン ストップ

「0 Home」以外の数字を選択します。

任意でその角度に名前をつけます。
例:ソファの上

[登録] をクリックします。

●プリセットした角度にカメラを向けるには

1 「プリセット位置」を、登録した番号にします。

2 [移動] をクリックすると、プリセットした角度にカメラが動きます。

●登録したプリセットを削除するには

1 「プリセット位置」を、削除したい番号にします。

2 [削除] をクリックすると、プリセット登録が削除されます。

■パソコンのIPアドレスを設定したい

1 「カメラのIPアドレスを変更する」(P.10)の手順で「IPアドレス変更」画面を開き、IPアドレスが「192.168.1.245」、サブネットマスクが「255.255.255.0」(工場出荷時の設定)になっていることを確認します。

2 パソコンのIPアドレスを「192.168.1.1～192.168.1.254(192.168.1.245を除く)」の間に設定します。



・すでに「192.168.1.XXX」以外のネットワークが構築されている場合、本商品の設定を行うためには、本商品と設定用パソコンで「192.168.1.XXX」のIPアドレスを持つ最小限のネットワークを構築する必要があります。設定用パソコンのIPアドレスを上記のように変更してください。なお、本商品の設定を行わないパソコンについては、IPアドレスを変更する必要はありません(本商品のIPアドレスと既存のネットワークとが異なっていても、プリンタへの接続は可能です)。

・本商品の工場出荷時のIPアドレスは、192.168.1.245です。これと同じIPアドレスを持つ機器が既に存在する場合は、本商品の設定が完了するまで該当する機器の電源を切っておくか、LANから切り離しておいてください。

・本書では、設定用パソコンのIPアドレスを以下に設定したものとして説明しています。設定の際には実際の値に読み替えてください。

IPアドレス:192.168.1.3

サブネットマスク:255.255.255.0

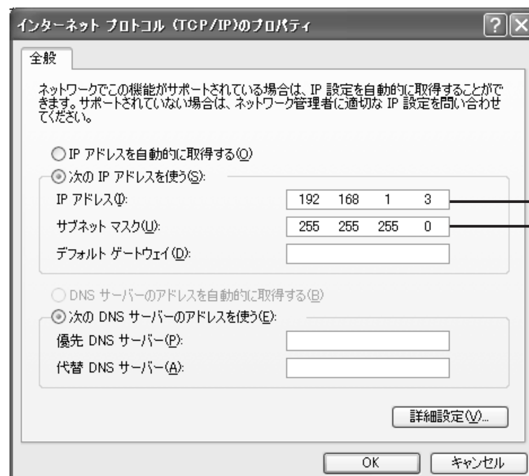
●Windows XP/2000の場合

① 「スタート」－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット接続」をクリックし、ネットワーク接続をクリックします(Windows 2000の場合は「スタート」－「設定」－「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックします)。

② 「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。

③ 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

④ 以下のように入力します。



⑤ ［OK］をクリックします。

⑥ 「ローカルエリア接続のプロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

⑦ ネットワーク接続画面を閉じます。

● Windows Me/98SE の場合

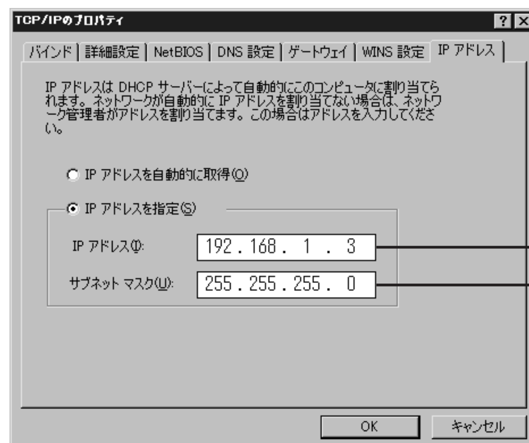
① 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

② 「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

> メモ
> Windows Meの場合、よく使うコントロールパネルのオプションだけが表示されているときは、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックすると、「ネットワーク」アイコンが表示されます。

③ 「ネットワークの設定」タブ内で「現在のネットワークコンポーネント」の欄にある「TCP/IP －> XXXXX(使用するネットワークアダプタ名)」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

④ 以下のように入力します。



① IP アドレス欄に「192.168.1.1 ～ 192.168.1.254」までの数値を入力
※ 192.168.1.245 は除く
※ 例は「192.168.1.3」

②サブネットマスク欄に「255.255.255.0」を入力

⑤ ［OK］をクリックします。

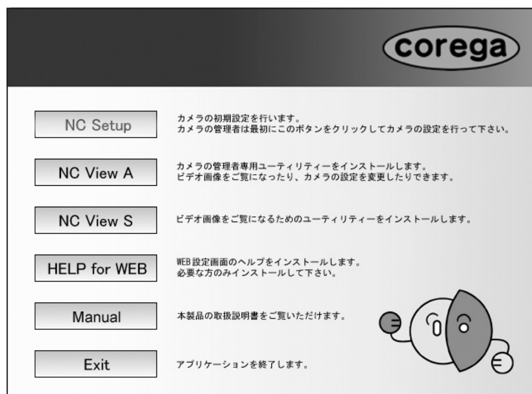
⑥ 「ネットワーク」画面の［OK］をクリックします。

> メモ
> 工場出荷時の状態では、ログイン名とパスワードは設定されていませんので、この画面は表示されません。

付 録

ユーティリティディスクについて

本商品に付属の「ユーティリティディスク」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットすると、次のような画面が表示されます。



● NCSetup

本商品の基本設定を行うソフトウェアです。所有者のパソコンにインストールしてください。詳しくは、「取扱説明書」をご覧ください。

● NCView A

本商品の画像を見たり設定変更をするためのソフトウェアです。所有者のパソコンにインストールしてください。詳しくは、「取扱説明書」と「詳細設定ガイド」（本書）をご覧ください。

● NCView S

所有者以外の一般ユーザが本商品の画像を見るためのソフトウェアです。各ユーザに配布してインストールしてもらってください。なお、「NCView S」はコレガのホームページからダウンロードすることもできます。

● HELP for WEB

本商品に内蔵されている設定画面のヘルプです。必要に応じてインストールしてください。

● Manual

「詳細設定ガイド」（本書）をご覧になることができます。
※ Adobe Reader が必要です。

MAC アドレスについて

ご契約されているプロバイダやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、CATV/ADSL モデムに直接接続するネットワーク機器（本商品も含むパソコンなど）の MAC アドレスをプロバイダに対して事前申請してください。
本商品の MAC アドレスは本体背面に記入されています。付属の「取扱説明書」をご覧になり確認してください。

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

2005 年 1 月　初版
2006 年 6 月　第四版